kontinent **/** 洲 **/ 「洲」は「五大洲(五つの大陸)」などで「大陸」の意を示す / 1文字で画数も少なく、日中で広く使われる**

* mar / 海 / 「海」をそのまま採用 / 単独でも「うみ」「hǎi」の意が明瞭
* ocean / 海洋 / 「洋」単独だと「洋風」「海外」のニュアンスも強いため、「海」と組み合わせて明確化 / 「海」は既出、1新字「洋」だけで済む
* amerik / 美洲 / 中国語では「美洲(アメリカ大陸)」、略して「美」も多用 / 「洲」は既出、1新字「美」のみ
* azi / 亚洲 / 「亚洲(アジア)」が標準表記 / 「洲」は既出、1新字「亚」のみ
* afrik / 非洲 / 「非洲(アフリカ)」が標準表記 / 「洲」は既出、1新字「非」のみ
* kvaranten / 检疫 / 「隔离」よりも「検疫」の意味に近い標準用語 / 2文字とも新出だが、公的表現として定着
* eskort / 护送 / 「護衛して送る」意が明確 / 2文字とも新出だが比較的常用
* patrol / 巡逻 / 「巡回して警戒する」意 / 2文字とも新出だが軍事・警察関連で常用
* garnizon / 驻军 / 「駐屯軍」の意味で中国語標準 / 2文字とも新出だが軍事用語として定着
* lim / 边界 / 「境界」より画数の少ない「边界」を採用 / 「边」は新出だが「界」は今後も転用可能
* kadr / 边框 / 「frame(枠)」の意味で「边框」(縁+枠)が分かりやすい / 「边」は既出、新字「框」のみ
* dig / 堤 / 「堤防」「堤坝」の意 / 1文字で「堤」が日本語・中国語ともに通じやすい
* krad / 格 / 「格子」「格子状」の意 / 1文字で十分に「格子・マス目」を連想可
* sojl / 门槛 / 「門の敷居、閾」/ 「门」は画数少、新字「槛」はやや多画だが標準的
* barier / 栅栏 / 「柵・フェンス」など物理的バリア / 日常的に「栅栏」はよく使われる語
* jubile / 禧年 / 本来「50年祭」など特別な周年を指す語 / 「禧」はやや珍しいが「年」とセットで「jubilee」のニュアンス
* karnaval / 狂欢节 / 「カーニバル」＝「狂って歓ぶ祭り」の直訳的表現 / 3文字とも新出だが中国語で一般的
* mort / 死 / 「死ぬ・死」/ 1文字で意味が明瞭
* nekrolog / 讣告 / 「死亡記事、訃報」の公的・公式表現 / 「讣」は日本語では馴染み薄だが、中国語で「訃報」に相当
* infer / 地狱 / 「地獄」 / 2文字とも新出だが標準的表現
* purgatori / 炼狱 / 「煉獄」/ 「狱」はinfer(地狱)と同字、今回は「炼」(煉)を追加
* eŝafod / 刑台 / 処刑台(死刑執行用の高台)というニュアンス / シンプルに2文字で示せる
* kadavr / 尸体 / 中国語では「尸体」が最も一般的 / 2文字とも新出だが「死体」と同様の概念
* tomb / 墓 / 「墓」「お墓」/ 1文字で意味が明確

ĉerk / 棺 / 中国語で「棺材」の略字として棺が通用。棺=coffinの意味が明瞭 / 一文字で分かりやすく、日本語の「棺」と同形なので学習コストも比較的低め

* miasm / 瘴气 / 「瘴気」は“悪性の毒気・瘴気”を指す定訳 / 「瘴」自体は画数が多いが、「気」は頻出字で再利用も期待できる
* dilem / 两难 / 中国語で“ジレンマ”を表す慣用的表現。「两难」=「両方とも難しい」 / 「两」「难」ともに比較的よく使われる字で、他用途への再利用可能性もある
* drakm / 德拉克马 / 古代ギリシャ通貨ドラクマの標準的音訳 / 「德」「拉」「克」「马」はいずれも比較的常用漢字で、他の外来語音訳にも再利用しやすい
* demagogi / 煽动 / デマゴギー(扇動)の意味に近い中国語表現 / 2文字で簡潔。「煽」「动」は頻度もまずまず高く再利用が可能
* diadem / 王冠 / 「冠」単体もあり得るが「王冠」の方が日本語話者にも直感的 / 「王」「冠」はいずれも常用字で他用への転用がしやすい
* ditiramb / 酒神颂 / 酒神(=バッカス/ディオニュソス)への賛歌を指す既存表現 / 「酒」「神」「颂」はそれぞれ意味が分かりやすく、一部は再利用可能
* lama / 喇嘛 / ラマ僧の中国語標準表記 / 2文字だが「喇」「嘛」は比較的よく見かける音訳用字(例:「什么」「巴哈马」等)で再利用範囲もある
* talmud / 塔木德 / タルムードの中国語音訳として一般的 / 「塔」はピラミッド(金字塔)などとも関連、「德」はdrakm(德拉克马)と共通で学習コスト削減
* pomad / 发油 / ポマード≒髪用オイルの意。「头油」も近いが「发油」の方が“髪(发)”のイメージが明瞭 / 「发」「油」はどちらも日常頻出字で学習コスト低め
* piramid / 金字塔 / ピラミッドの定訳 / 「金」「字」「塔」はそれぞれ頻度が高く、塔はTalmud(塔木德)と共通で再利用性あり
* brom / 溴 / 臭素(bromine)の中国語正式表記 / 一文字だがやや画数多め。とはいえ化学元素記号として定着済みで学習上は妥当
* karmin / 胭脂红 / カルミン染料の一般呼称。胭脂=“紅色の化粧(ルージュ)”、+红で“カーマイン”を明確化 / やや画数は多いが、中国語圏で広く通じる組み合わせ
* kumin / 孜然 / クミンの中国語一般名 / 2文字ながら料理用語としてよく登場、独特だが他言語でも“ziran”として認知度あり
* jasmen / 茉莉 / ジャスミンを指す標準的表現(茉莉花) / 「茉」「莉」は組み合わせで意味を成すが、中国語では一般的
* rosmaren / 迷迭香 / ローズマリーの定訳 / 「迷」「迭」「香」は日常使用度も高め(香は“香り”)で、覚えるメリット大
* gerani / 天竺葵 / ゼラニウムの定訳 / 「天」「竺」「葵」で構成される植物名。やや画数あるが中国語園芸分野で通用
* domen / 骨牌 / ドミノ牌＝「骨牌」と呼ぶのが通例 / 2文字で簡潔。「骨」は“骨”、 「牌」は“札・パイ”の類で意も取りやすい
* dinamit / 炸药 / ダイナマイト＝広義の爆薬として「炸药」 / 2文字ともに頻度が高く、関連語(爆炸等)にも転用可能
* limonad / 柠檬水 / レモネードの定番表現 / 「柠」「檬」「水」はいずれも常用。果物系の単語で他料理関連にも展開しやすい
* alun / 明矾 / ミョウバンの標準表記 / 「明」「矾」はやや化学用だが「明」は極めて頻出字
* oniks / 缟玛瑙 / オニキス(縞瑪瑙)の正式呼称 / 「缟」「玛」「瑙」は宝石系では馴染みある語。玛瑙(瑪瑙)の部分は“めのう”と連想可能
* migdal / 杏仁 / アーモンドを中国では“杏仁”と呼ぶのが一般的 / 「杏」は日本語でも“あんず”を想起、「仁」も“種の中身”をイメージしやすい
* antimon / 锑 / アンチモン(元素)の中国語表記 / 一文字で元素記号として確立。金属偏+易で“锑”
* anemon / 银莲花 / アネモネの定訳 / 「银」「莲」「花」で“銀の蓮の花”という直訳的名称。日本語の“銀蓮花”とも対応しイメージしやすい

tarantel / 塔舞 /

* + 選定理由: 「タランテラ(Tarantella)」は特定の舞踊名称であり、簡体字に定訳はないため、「塔(音写の一部)＋舞(踊り)」で意味を想起しやすくした。
  + 学習コスト: 「塔」「舞」は日中双方で比較的よく見かける漢字。すでに学習済みの他のダンス名にも応用できる可能性がある。

1. tarantul / 狼蛛 /
   * 選定理由: 中国語における「タランチュラ」の一般的な表記。「狼蛛」は辞書等でも「tarantula」として通用する。
   * 学習コスト: 「狼」「蛛」ともに常用字で、意味(狼＋クモ)も連想しやすい。
2. turbin / 涡轮 /
   * 選定理由: 「タービン」の中国語で代表的なのは「涡轮」。ターボ(涡轮增压)などにも用いられる表記でわかりやすい。
   * 学習コスト: 「涡(渦)」「轮(輪)」はいずれも機械関係などで比較的よく使われる。再利用可能性もある。
3. terebint / 松节油 /
   * 選定理由: テレビン油(ターペンタイン)は中国語で「松节油」が最も一般的。
   * 学習コスト: 「松」「节」「油」は単独でも高頻度の漢字。今後ほかの単語にも転用しやすい。
4. tanin / 单宁 /
   * 選定理由: タンニンの中国語表記「单宁」が広く定着している。
   * 学習コスト: 「单」「宁」はともに画数は大きすぎず、常用範囲。
5. plant / 植 /
   * 選定理由: 「植」は「植える・植物」の双方を連想可能。
   * 学習コスト: 漢字圏では意味を類推しやすく、単独1文字で済むため学習負担を抑えられる。
6. vegetal / 植 /
   * 選定理由: 「植物の」「野菜の」といった広義の“植物由来”を単に「植」で再利用。
   * 学習コスト: すでに(6)で用いた「植」を流用することで、新たな漢字学習を不要にする。
7. plant## / 植 /
   * 選定理由: こちらは正式な語根ではないが、(6)(7)同様に「植」を割り当て、体裁を整える。
   * 学習コスト: 再利用により追加学習が不要。
8. bed / 苗床 /
   * 選定理由: 「苗床」は“苗を育てるための床”という意味そのまま。
   * 学習コスト: 「苗」「床」はどちらも基本的な漢字で、組み合わせとしても分かりやすい。
9. markot / 压条 /

* 選定理由: 園芸でいう“取り木”や“屈枝挿し”などを総称する「压条」が中国語で一般的。
* 学習コスト: 「压」「条」はともに比較的画数が少なく、ほかの複合語にも使われる。

1. bosk / 林 /

* 選定理由: 小さい森・植え込み(植込み)を意味する「林」が、短く簡潔でイメージしやすい。
* 学習コスト: 一文字で済み、既出の「木」要素とも関連が深い(「林」は「木」×2)。

1. korol / 花冠 /

* 選定理由: 花の冠をそのまま「花冠」と表すのが自然。
* 学習コスト: 「花」「冠」はいずれも常見で、意味も直感的。

1. stamen / 雄蕊 /

* 選定理由: 植物学用語として最も一般的な表記。「雄蕊」は“おしべ”全体を示す。
* 学習コスト: 学術用だが辞書レベルでは広く認知されており、正確性を優先。

1. tig / 茎 /

* 選定理由: 「茎」は植物の茎や軸をシンプルに一字で表す漢字。
* 学習コスト: 画数が8画と比較的少なく、農学・園芸関係で汎用性あり。

1. spik / 穗 /

* 選定理由: 「穗(穂)」は稲穂など“穂状の部分”を指す。
* 学習コスト: 植物学では頻出の字。中日ともに「穂」と同源で理解しやすい。

1. bet / 甜菜 /

* 選定理由: ビート(甜菜)を中国語では「甜菜」と書くのが一般的。
* 学習コスト: 「甜(甘い)」「菜(野菜/植物)」という基本字の組み合わせでわかりやすい。

1. vit / 葡萄 /

* 選定理由: ブドウは中国語で「葡萄」が最も広く使われる。
* 学習コスト: やや画数は多いが、非常に常用される果物名。

1. betul / 桦 /

* 選定理由: 白樺など“樺の仲間”を意味する場合、中国語では「桦」(桦树)が一般的。
* 学習コスト: 10画で比較的シンプル。樹木関連はまとめて覚えやすい。

1. fag / 山毛榉 /

* 選定理由: ブナは中国語で「山毛榉」(shān​máo​jǔ)が標準。
* 学習コスト: やや画数は多いが、正確な名称を優先。

1. abi / 冷杉 /

* 選定理由: モミを指す一般的な中国語表記は「冷杉」。
* 学習コスト: 「冷」「杉」はいずれも基礎漢字。杉系統で再利用も可能。

1. pin / 松 /

* 選定理由: マツを一字で表す場合は「松」。
* 学習コスト: 8画と少なく、用途も広い。

1. pice / 云杉 /

* 選定理由: トウヒは中国語で「云杉」と呼ぶのが一般的。
* 学習コスト: 「云」「杉」どちらも既出or近似要素で学習コスト低め。

1. salik / 柳 /

* 選定理由: ヤナギは「柳」が最も代表的。
* 学習コスト: 一字表記でわかりやすい。

1. roz / 玫瑰 /

* 選定理由: バラを広く指す日常名称としては「玫瑰」が主流(「蔷薇」は学術的だが画数が多い)。
* 学習コスト: 合計画数はやや多めだが、日常の花名として認知度が高い。

1. viol / 堇菜 /

* 選定理由: スミレ属(Viola)を学術的に指す場合は「堇菜」が正確(「紫罗兰」等は別植物を指す場合も)。
* 学習コスト: やや専門用語だが、学術名としての汎用性を優先。

1. palm
   * 提案: 棕榈
   * 理由: 中国語で「palm tree」を指す標準的な表現は「棕榈」(単に「棕」も使われるが“茶褐色”の意味とも重なる)。二字熟語にすることで中国語話者に意味が伝わりやすい。
   * 学習コスト: 新出の「棕」「榈」はどちらもやや画数は多いが、ヤシ全般を指す代表的表記としては妥当。後続で頻繁に使われる可能性は低いが、やむを得ない割当。
2. lotus
   * 提案: 莲
   * 理由: 簡体字で「蓮」を「莲」と書く。中国語話者にも日本語話者にも「ハス」であると比較的類推しやすい。
   * 学習コスト: 「莲」は7画で比較的シンプル。植物関連で時折登場する可能性もある。
3. laŭr (月桂樹)
   * 提案: 月桂
   * 理由: 「月桂」はbay tree（laurel）の中国語呼称。単に「桂」だと桂花(モクセイ科)など別植物との混同が起きやすいため、2文字で明示。
   * 学習コスト: 「月」「桂」どちらも画数はそれほど多くない(計11画)。また「月」は汎用性が高く、後々他の語にも転用しやすい。
4. diant (カーネーション)
   * 提案: 石竹
   * 理由: カーネーション属(Dianthus)は中国語で「石竹属」。一般名として「康乃馨」もあるが、画数が多く新しい漢字(康/乃/馨)を複数導入するより、「石竹」のほうが字数・画数ともに抑えられる。
   * 学習コスト: 「石」「竹」はいずれも画数が少なく、非常に汎用性が高い部首・漢字なので重宝する。
5. platan (プラタナス)
   * 提案: 法桐
   * 理由: 中国語で街路樹などに使われるプラタナスを「法国梧桐」(略して「法桐」)と呼ぶことが多い。「悬铃木」も正式名称だが画数が多め。
   * 学習コスト: 「法」と「桐」の2字のみ(計18画)。「木」偏の再利用はできないが、「桐」も他の樹種名に使える可能性あり。
6. lavend (ラベンダー)
   * 提案: 薰衣草
   * 理由: 中国語でラベンダーを指す代表的な名称。
   * 学習コスト: 「薰」「衣」「草」の3字すべてそこそこ使用頻度があり、特に「草」は植物全般でよく使う部首・漢字。「薰」(熏の異体)はやや画数多め。
7. santal (ビャクダン、サンダルウッド)
   * 提案: 檀香
   * 理由: 中国語でサンダルウッドを「檀香」と呼ぶのが一般的。
   * 学習コスト: 「檀」(17画)はやや多画数。「香」は9画だが漢字圏では意味把握が容易。「檀」は後の“紫檀(rosewood)”などでも再利用可能。
8. gencian (リンドウ、gentian)
   * 提案: 龙胆
   * 理由: 中国語のリンドウ科植物の代表名は「龙胆」(リュウタン)。
   * 学習コスト: 「龙」(5画)、「胆」(9画)で計14画。比較的シンプル。
9. palisandr (シタン、ローズウッド)
   * 提案: 紫檀
   * 理由: ローズウッドの代表的呼称。「花梨木」や「玫瑰木」等もあるが、「紫檀」がとくに有名。前項で使った「檀」を再利用できる。
   * 学習コスト: 新たに「紫」を導入するが、「檀」は既出につき総体的な新字数は抑えられる。
10. beladon (ベラドンナ)

* 提案: 颠茄
* 理由: デッドリーナイトシェード(Atropa belladonna)の中国名。別名「莨菪」等もあるがこちらが比較的通用。
* 学習コスト: 「颠」(11画)と「茄」(8画)はどちらも日常使用頻度は中程度。

1. kolz (アブラナ、菜種)

* 提案: 油菜
* 理由: rapeseed(油菜、油菜籽)の代表的名称。「油菜」だけでアブラナ類を広く指す。
* 学習コスト: 「油」(8画)と「菜」(11画)。ともに比較的頻度は高い。

1. vezir ((旧トルコ帝国の)大臣、vizier)

* 提案: 维齐尔
* 理由: 中国語での一般的な音訳表記。意味の近い「宰相」などではトルコ帝国特有の官職名とは異なる。
* 学習コスト: 「维」「齐」「尔」いずれも比較的よく使う簡体字(ただし固有の音訳にも多用)。

1. tog (トーガ)

* 提案: 托加
* 理由: ローマ時代のtogaの音訳。
* 学習コスト: 「托」(6画)と「加」(5画)の計11画で比較的シンプル。

1. tors (トルソ)

* 提案: 躯干
* 理由: 身体の胴体部分を指す一般的表現。
* 学習コスト: 「躯」(10画)と「干」(3画)→簡体では「干」表記(総17画)。汎用性はそこそこ。

1. turk (トルコ人、Turk)

* 提案: 土耳其
* 理由: 現代中国語でトルコを「土耳其」、そこから転じてトルコ人を指すのが一般的。
* 学習コスト: 「土」「耳」「其」それぞれ常用範囲内。3字合わせてやや多めだが仕方ない。

1. turkis (トルコ石、ターコイズ)

* 提案: 绿松石
* 理由: 中国語でターコイズを指す標準名称。
* 学習コスト: 「绿」(9画)「松」(8画)「石」(5画)で計22画。いずれも比較的基本的な漢字で汎用性はある(とくに「松」「石」)。

1. maroken (モロッコ皮、モロッコ革)

* 提案: 摩洛哥皮革
* 理由: 中国語で「モロッコ」を「摩洛哥」と音訳し、「皮革」で“革製品”を示す。最も誤解が少ない表現。
* 学習コスト: 「摩」「洛」「哥」「皮」「革」の5字をまとめて使用するが、いずれも認知度は比較的高い。

1. ŝel (殻、樹皮、外皮など)

* 提案: 壳
* 理由: 樹皮・果皮・貝殻など“外側の殻”のイメージに近い簡体字。厳密には「皮」や「树皮」と分ける場合もあるが、ここでは外皮系統をひとまとめに「壳」として割当。
* 学習コスト: 画数7画。「krust」と同字を使い回すことで新出文字を抑える。

1. krust (クラスト、硬い外皮・甲殻)

* 提案: 壳
* 理由: “硬い外皮・甲殻”という点で中国語では「硬壳」「外壳」などと呼ぶことが多い。同じ「壳」で二重割当。
* 学習コスト: 「ŝel」と同様、学習文字数削減のため同字再利用。後で上付き文字などで区別予定。

1. ŝam (セーム革、chamois leather)

* 提案: 鹿皮
* 理由: 本来ヨーロッパのシャモア(山岳地帯のヤギ亜科)由来の革だが、中国では洗車用などの“セーム革”を「鹿皮巾」と呼ぶ例が比較的知られる。完全に一致するわけではないが、実用上は「鹿皮」が通りやすい。
* 学習コスト: 「鹿」(11画)と「皮」(5画)。いずれも常用度は高め。

1. epiderm (表皮)

* 提案: 表皮
* 理由: 生物学用語として「epidermis」をそのまま「表皮」と呼ぶ。
* 学習コスト: 「表」(8画)と「皮」(5画)。どちらも既出or汎用性高。

1. haŭt (皮膚)

* 提案: 皮肤
* 理由: 中国語で「skin」を表す標準的表現。「皮」＋「肤」。
* 学習コスト: 「皮」既出、「肤」(9画)はやや新規だが人体関連で使用頻度も高い。

1. led (なめし皮)

* 提案: 皮革
* 理由: 中国語の「皮革」は“なめし皮”を含む革製品全般を指す常用語。
* 学習コスト: 「皮」は既出、「革」も上記(摩洛哥皮革など)で既出。

1. fel (毛皮)

* 提案: 毛皮
* 理由: 中国語で「毛皮」はそのまま“fur”の意味になる。
* 学習コスト: 「毛」(4画)と「皮」(5画)、どちらも既出。

1. pelt (毛皮)

* 提案: 毛皮
* 理由: 「fel」と同様、動物の皮毛を指すので同じ「毛皮」で対応可能。
* 学習コスト: すでに「毛」「皮」は登場済。同一表記で重複割当し、サブスクリプト等で区別。

tort **/** 饼 **/**

* + 選定理由: 中国語で「饼」は広く“薄い小麦製の焼きもの”や“ケーキ類”も指すことがあり、パイ・タルト系を連想しやすい。
  + 学習コスト: 「饼」は画数が比較的少なく(7画)、後続の「馅饼」「干饼」などでも再利用予定。

1. pasteĉ / 馅饼 /
   * 選定理由: 「馅饼」は文字どおり“中に具(あん)が入った饼(パイ・焼き菓子)”で、肉や魚のパイに相当する表現。
   * 学習コスト: すでに「饼」を使っているため再利用が可能。「馅」(9画)が新たに増えるが、中国語話者にはわかりやすい。
2. mac / 干饼 /
   * 選定理由: 「干饼」は直訳すると“乾いた饼”、実際の「マッツォ(種無しパン)」に完全一致ではないが、「発酵していない(膨らまない)パン」のイメージに近い。
   * 学習コスト: 「干」(3画)は比較的画数が少なく、「饼」と組み合わせるだけで済む。
3. pan / 面包 /
   * 選定理由: 中国語で“パン”と言えば「面包」が最も標準的。「面」=“粉もの/小麦”、 「包」=“包む”を連想でき、日本語母語話者にも“麺+包?”でパンと類推しやすい可能性あり。
   * 学習コスト: 2文字(「面」9画＋「包」5画)だが非常に一般的表現で汎用性が高い。
4. bulk / 小面包 /
   * 選定理由: 「ロールパン」相当をシンプルに“小さいパン”=「小面包」と表記。
   * 学習コスト: 「小」(3画)はよく使われる基本字で、新規追加しても学習負担は比較的少ない。既出の「面包」と組み合わせ。
5. barĉ / 罗宋汤 /
   * 選定理由: 「罗宋汤」は中国で“ボルシチ”を指す有名な名詞(ロシア風スープ)。
   * 学習コスト: 「罗(8画)」「宋(7画)」「汤(6画)」はいずれも頻出度中程度。今後「汤」(スープ)は再利用予定。
6. buljon / 汤 /
   * 選定理由: 「ブイヨン」「ブロス」=“だしスープ”なので、一文字でシンプルに「汤」(スープ)を割り当て。
   * 学習コスト: 既に「barĉ(罗宋汤)」で「汤」を使っており重複利用できる。
7. malt / 麦芽 /
   * 選定理由: “モルト(ビール用麦芽)”は中国語で「麦芽」が直訳として最も自然。
   * 学習コスト: 「麦」(7画)は“麦・穀物”関連で汎用性あり。「芽」(8画)も比較的基本的な字。
8. porter / 黑啤 /
   * 選定理由: 「ポーター」は“黒ビール”の一種なので、略して「黒ビール」を表す「黑啤」が分かりやすい(正式には「黑啤酒」)。
   * 学習コスト: 「黑」(12画)はやや画数多めだが、既に「啤」(後述の“啤酒”)と組み合わせる形で1文字追加ですむ。
9. vermut / 苦艾酒 /

* 選定理由: 「ベルモット」は「苦艾(=ウォームウッド/ニガヨモギ)」を元にした酒として「苦艾酒」と呼ばれる。
* 学習コスト: 「苦」(8画)と「艾」(4画)はいずれも画数少なめ。「酒」(10画)は後述の多くの酒類で再利用予定。

1. miel / 蜜 /

* 選定理由: “蜂蜜”を指す際、中国語では「蜂蜜」と2文字で書くことが多いが、一文字の「蜜」も“蜜そのもの”という意味合いを持つ。
* 学習コスト: 9画だが、後述の「蜜饯(砂糖漬け)」などでも使い回し可能。

1. melas / 糖蜜 /

* 選定理由: “糖蜜”(モラセス)は中国語でも「糖蜜」と書く。
* 学習コスト: 既に「糖」や「蜜」が登場(「suker」「miel」など)するため再利用しやすい。

1. fromaĝ / 干酪 /

* 選定理由: 「干酪」は“チーズ”の漢訳として使われる表現。
* 学習コスト: 「干」は先に「干饼」で登場済み、新たに「酪」(13画)が増えるが使用頻度はそこそこある。

1. krem / 奶油 /

* 選定理由: “クリーム”全般を中国語で言うと「奶油」が馴染み深い。
* 学習コスト: 「奶」(5画)と「油」(8画)はいずれも基本的な字で、料理関連表現にも流用しやすい。

1. konfit / 蜜饯 /

* 選定理由: 「砂糖漬け」「蜜漬け」に相当する一般的な言葉として「蜜饯」を採用。
* 学習コスト: 「蜜」は「miel」で既出。「饯」(8画)は初出だが、同じ食偏(飠/饣)を含むため認知しやすい。

1. suker / 糖 /

* 選定理由: 最もシンプルに“砂糖”を表す字として「糖」。
* 学習コスト: 10画だが「糖果」「糖蜜」など派生表現に再利用でき、利便性が高い。

1. kand / 糖果 /

* 選定理由: “氷砂糖・砂糖菓子”は広義で「糖果(キャンディ)”と呼べる。
* 学習コスト: 既に「糖」を使用。「果」(8画)は後の「苹果酒」(シードル)で再利用。

1. bier / 啤酒 /

* 選定理由: “ビール”の基本的な中国語表記。
* 学習コスト: 「啤」(8画)はやや画数があるが、「酒」(10画)を含め今後さまざまな酒類表現で「酒」を再利用。

1. brand / 白兰地 /

* 選定理由: “ブランデー”の漢訳として広く定着している「白兰地」。
* 学習コスト: 「白」(5画)「兰」(5画)「地」(6画)はいずれも基本的。発音的にも分かりやすい。

1. likvor / 甜酒 /

* 選定理由: “リキュール”は「利口酒/甜酒/香甜酒」など諸説あるが、甘い酒ということで簡略に「甜酒」。
* 学習コスト: 「甜」(11画)のみ初出。「酒」は既出。2文字なので比較的短い。

1. vin / 葡萄酒 /

* 選定理由: “ぶどう酒”=「葡萄酒」が最も標準的で中国語話者に即伝わる。
* 学習コスト: 「葡」(10画)「萄」(10画)はいずれもやや画数多めだが、有名語なので理解度が高い。

1. cidr / 苹果酒 /

* 選定理由: “リンゴ酒”=「苹果酒」で中国語圏では通じる表現。
* 学習コスト: 「苹」(8画)は初出だが、「果」(8画)は「糖果」で登場済み。「酒」は再利用。

1. viski / 威士忌 /

* 選定理由: ウイスキーの音訳として確立している「威士忌」。
* 学習コスト: 3文字(「威」9画、「士」3画、「忌」7画)だが、中国語圏で広く定着している音訳表現。

1. kirŝ / 樱酒 /

* 選定理由: “キルシュ(チェリーの蒸留酒)”なので、本来「樱桃酒」が一般的だが、2文字に圧縮して「樱酒」。
* 学習コスト: 「樱」(15画)はやや多画だが、「桃」を省略でき、新出文字数を抑えつつ意味も通じやすい。「酒」は再利用。

1. konjak / 干邑 /

* 選定理由: コニャックは「干邑」と書いて“コニャック地方”の音訳表現として定着。
* 学習コスト: 「干」は既に(「干饼」「干酪」など)で複数回利用。「邑」(7画)のみ新規だが2文字表記ですむ。

rum

* + 提案: 朗姆
  + 理由: 中国語でラム酒を表す標準的な音訳「朗姆酒」の略。日本人にも「ラム(Rum)→朗姆」の音訳だとわかりやすい。
  + 学習コスト: 「朗」「姆」はやや画数が多いが、ラム固有の名称として割り切って採用。他の単語での使い回しはあまり期待できない。

1. most
   * 提案: 葡萄汁
   * 理由: 「未発酵のブドウ液(=マスト)」を直観的に表すには「葡萄汁」が分かりやすい。中国語圏・日本語圏とも「葡萄 = ブドウ」「汁 = ジュース」と容易に類推可能。
   * 学習コスト: 3文字で多少増えるが、どれも比較的頻度が高く「葡」「萄」「汁」は他の場面でも使われる可能性がある。
2. tonel
   * 提案: 吨
   * 理由: 中国語で「吨(噸)」はトン(ton)の意。本来「重量トン」を指すことが多いが、「容積トン」含めトン系統の単位を幅広く示せる。
   * 学習コスト: 1文字なので短く、画数(7画)もそこまで多くない。
3. skal
   * 提案: 比例
   * 理由: 地図や図面のスケール(比率)など、「比例」は中国語・日本語ともに「スケール」「比率」をイメージしやすい。
   * 学習コスト: 2文字だが比較的頻出語。「比」「例」は他の用法でも出現しうる。
4. kalibr
   * 提案: 口径
   * 理由: 銃などの口径、または計器類の口径(キャリバー)を示す語として、日中ともに「口径」は定訳。
   * 学習コスト: 2文字だが「口」は画数も少なく汎用性が高い。「径」(8画)も数学・幾何用語などで使われる。
5. mezur
   * 提案: 量
   * 理由: 「計る・測る」の総称としてシンプルに「量」を採用。中国語でも動詞・名詞両面で「量(測量する、数量)」に関係づけられる。
   * 学習コスト: 1文字で簡潔。後述の「kvant(量)」などとも重複利用することで漢字総数を減らせる。
6. pes
   * 提案: 称
   * 理由: 中国語で「称(chēng)」は「重さを量る」を意味する常用動詞。日本語の「称(しょう)」は本来「呼称」の意が強いが、同形漢字として転用可能。
   * 学習コスト: 1文字なので比較的覚えやすい。画数(8画)も中程度。
7. doz
   * 提案: 剂
   * 理由: 薬や調味料などの「一回分の分量」を表す「剂(劑)」は、中国語で「薬剤・処方」等の意味を持つ。
   * 学習コスト: 1文字で済み、頻出漢字(薬剤関連)でもある。
8. kvant
   * 提案: 量
   * 理由: 「量」「数量」を示す最適な1文字として既に「mezur」にも使った「量」を再利用。
   * 学習コスト: 「mezur」と同じ「量」で区別は上付き文字等に任せる方針。総漢字種類を抑えるメリット大。
9. dimensi

* 提案: 次元
* 理由: 日本語の「次元」と中国語での「二次元(2D)／三次元(3D)」などから連想が容易。専門用語としても定着。
* 学習コスト: 2文字だが「次」「元」とも比較的画数が少なく、かつ他の語彙でも再利用可能。

1. volumen

* 提案: 体积
* 理由: 中国語で「体积」は「物体の容積・体積」を表す基本語。日本語からも「体」「積」で概ね推測可能。
* 学習コスト: 「体(7画)」「积(10画)」とやや画数多めだが、日中ともに日常的な字。

1. mast

* 提案: 桅
* 理由: 中国語で船のマストを指す「桅(桅杆)」。日本語話者にはなじみが薄いが、船舶用語としては標準。
* 学習コスト: 1文字だが比較的画数(10画)は多い部類。他の再利用は期待しづらいが、海事用専門語として割り切る。

1. kompas

* 提案: 罗盘
* 理由: 本来「罗盘(luópán)」は風水盤の意味もあるが、海事用コンパスを指す場合にも使える。日本語「羅針盤」と響きが近い。
* 学習コスト: 新出の「罗(8画)」「盘(9画)」だが、羅針盤を想起しやすく妥当。

1. insul

* 提案: 岛
* 理由: 「島」の簡体字。中国語で最も一般的な「島」を示す字で、日本語圏も形の違いはあれど意味は容易に類推できる。
* 学習コスト: 8画とそこそこだが、「島」同様に重要な基本地理用語。

1. arkipelag

* 提案: 群岛
* 理由: 「群岛」は「群(むら)がった島々＝群島」の意味。日中ともに「群＋島」で大まかな意味が分かる。
* 学習コスト: 新出の「群(13画)」はやや多画数だが、すでに「岛」を使い回せる。

1. arĥipelag

* 提案: 群岛
* 理由: 上と同じ「群島」を指すため同じ熟語を割り当て。
* 学習コスト: 同一語根なので再利用。新たな漢字は増えない。

1. istm

* 提案: 地峡
* 理由: 「地峡(ちきょう)」は日中で「地面の狭い所」=「地峡(いすとむす)」の意味が通じる。
* 学習コスト: 「地(6画)」「峡(9画)」。地理用語としてそこまで頻繁ではないが、辞書的には標準表記。

1. lagun

* 提案: 泻湖
* 理由: 中国語「泻湖(xièhú)」は「潟湖」「ラグーン」を指す。やや専門用語だが、字面から湖であることが分かりやすい。
* 学習コスト: 「泻(8画)」「湖(12画)」とやや多めだが、湖関連で再利用の可能性はある。

1. rif

* 提案: 礁
* 理由: 「礁」は岩礁やサンゴ礁を意味し、「暗礁」などにも用いられる。
* 学習コスト: 13画と少し多いが、地形を示す常用字。

1. krater

* 提案: 火山口
* 理由: 一般的に火山の噴火口を指すなら「火山口」。隕石クレーターなら「陨石坑」などもあるが、代表的用法として。
* 学習コスト: 3文字ながら「火(4画)」「山(3画)」「口(3画)」はいずれも画数が少なく、ほかで再利用もしやすい。

1. min

* 提案: 矿
* 理由: 簡体字の「矿(礦)」は「鉱山」「鉱石」を直接表す基本字。
* 学習コスト: 7画。地質・産業関連で頻出。

1. grot

* 提案: 洞
* 理由: 「洞穴」「洞窟」の「洞」は中国語でも「cave」を表す最も一般的な字の一つ。
* 学習コスト: 9画程度で比較的単純。

1. mont

* 提案: 山
* 理由: 最も基本的な地形を表す字。日中どちらも「山」で完全に通じる。
* 学習コスト: 3画で極めてシンプル。汎用性も高い。

1. vulkan

* 提案: 火山
* 理由: 火+山で「火山」を示し、日中ともに一致する表記。
* 学習コスト: 「火」「山」は既出(または併用)で画数少なく、再利用性も高い。

1. brik

* 提案: 砖
* 理由: 中国語で「砖(磚)」は「レンガ」を意味する標準的な簡体字。
* 学習コスト: 9画。建材用語としては基本。

pumik

* + 浮石
  + 選定理由: 中国語では「浮石」が軽石（pumice）を指す標準的な呼称の一つ。日本語でも「浮＝浮かぶ」「石＝石」と容易に連想可能。
  + 学習コスト: 「浮」は“水＋浮”という形で新しい偏旁だが、「石」はほかの語根（例: ŝton）でも使用するため再利用度が高い。

1. ŝton
   * 石
   * 選定理由: 「石」は「石頭(头)」を含む広い意味で“石”を示す最も基本的な漢字。
   * 学習コスト: 画数も少なく、日本語・中国語どちらでも「石」は直感的に理解しやすい。
2. rok
   * 岩
   * 選定理由: 「岩」は日本語でも“いわ”として馴染みがあり、中国語でも「岩石」の略としてよく見かける。
   * 学習コスト: 「石」と同様に画数が比較的少なく、意味の連想もしやすい。
3. river
   * 河
   * 選定理由: 中国語では“河”が川全般を指す最も基本的な字の一つ。日本語でも“河川”の「河」としてなじみがある。
   * 学習コスト: 「さんずい偏(氵)＋可」の構成で、既出の部首（さんずい）を使い回せる可能性もある。
4. lag
   * 湖
   * 選定理由: 中国語でも日本語でも“湖”は「みずうみ」を示す漢字。
   * 学習コスト: さんずい偏(氵)＋胡の組み合わせ。頻出する要素ではあるが、新たに「胡」を導入するが比較的よく使われる字。
5. golf
   * 湾
   * 選定理由: 「湾」は中国語で“海湾(bay/gulf)”を意味し、日本語でも“湾岸”などで馴染みがある。
   * 学習コスト: 画数はやや多いが、他に適切な単字が少ないため選定。
6. fjord
   * 峡湾
   * 選定理由: 中国語で“フィヨルド”は一般的に「峡湾」と表現される。単字での対応は難しいため二字熟語を採用。
   * 学習コスト: 「湾」は既出（golf）と同じ字を再利用。「峡」はさんずい偏(氵)＋夹で、学習コストはやや増だがフィヨルドを表すには定訳。
7. haven
   * 港
   * 選定理由: 「港」は日本語でも中国語でも“港”を指し、発音は異なるが互いに意味は類推しやすい。
   * 学習コスト: 既出のさんずい偏(氵)と共通しており、漢字としても比較的メジャー。
8. rod
   * 泊
   * 選定理由: 中国語でも「停泊」は船が停泊すること、日本語でも「船泊まり」「宿泊」の“泊”で“とまる”意味を含む。
   * 学習コスト: さんずい偏(氵)＋白の組み合わせ。すでにさんずい偏(氵)は何度も登場しているため再利用性がある。
9. dok
   * 船坞
   * 選定理由: 中国語で「船坞」はドック（船を修理・建造する施設）を指す。1文字での適切な対応は難しいため2文字熟語。
   * 学習コスト: 「船」は後述のŝipに対応予定で再利用性が高い。「坞」は新出だが、dockを表すうえでは比較的一般的。
10. galer
    * 桨帆船
    * 選定理由: ガレー船はオール（桨）と帆（帆）を用いる船（船）。簡体字で「桨帆船」と表現できる。
    * 学習コスト:
      + 「桨」は“木＋乡”の形。
      + 「帆」は後述(vel)と共有可能。
      + 「船」はŝipに既出予定。  
        3文字ではあるが意味を正しく伝えやすい。
11. kajut
    * 舱
    * 選定理由: 中国語の「船舱」から“舱”を抜き出し、船室・客室などを表す字として採用。単字で“船室”を連想するにはこの字が最適。
    * 学習コスト: 舟偏(⾈)＋仓の組み合わせ。多少画数はあるが1文字で済むためシンプル。
12. ferdek
    * 甲板
    * 選定理由: 甲板（deck）は中国語でも「甲板」が最も一般的。単字「甲」だけでは甲羅・第一など他意味が強く、誤解を招く。
    * 学習コスト: 二字熟語だがどちらの言語でもわかりやすい。
13. ŝalup
    * 艇
    * 選定理由: 中国語では「小艇」「艇」などが“小型の船”一般を指す。ランチ・スループ・ロングボートといった小舟を包含できる。
    * 学習コスト: 「艇」は「舟」偏(⾈)を含むが、単字ゆえシンプル。
14. vel
    * 帆
    * 選定理由: 帆船などに使う「帆」は中国語でも日本語でも“帆”として通じやすく、画数も少ない。
    * 学習コスト: 「巾＋凡」の構造で画数は多くない。船関連で再利用度が高い。
15. ref
    * 收帆
    * 選定理由: 「to reef (a sail)」＝帆を畳む/縮める行為の意味が最も近いのは「收帆」（帆を収める）あたりが妥当。
    * 学習コスト: 二字熟語だが、「帆」はすでに確定済み。新出は「收」のみで画数も比較的少なめ。
16. flos
    * 筏
    * 選定理由: 中国語でも「筏」は“いかだ”を指す漢字。日本語にも同形同義の「筏」がある。
    * 学習コスト: 「竹」偏＋伐。やや新規要素だが単字で済むのはメリット。
17. bark
    * 帆船
    * 選定理由: 「bark」は（小型〜中型の）帆船を指すことが多いため、汎用的に“帆船”を使う。
    * 学習コスト: 「帆」はvelと共有、「船」はŝipと共有。二字熟語だが再利用率は高い。
18. pram
    * 渡船
    * 選定理由: フェリーや渡し舟的な意味合いが強いため、中国語で“渡船”が比較的分かりやすい。
    * 学習コスト: 「船」は再利用可能。「渡」はさんずい偏(氵)＋度で、初出だが頻度はそこそこ高い。
19. ŝip
    * 船
    * 選定理由: 最も一般的に“船”を表す漢字。中国語・日本語ともに多用。
    * 学習コスト: 単字でわかりやすく、船舶関連で頻出のため再利用度がきわめて高い。
20. boat
    * 舟
    * 選定理由: より小型のボート類を指す漢字として「舟」を採用。中国語でも「小舟」「划舟」など語彙多数。
    * 学習コスト: 「舟」は画数が少なく、漢字圏で広く“ふね”を連想できる。
21. marmelad
    * 果酱
    * 選定理由: 中国語でジャム全般を「果酱」という。マーマレードも同様に“果物のジャム”として通じやすい。
    * 学習コスト: すでに「果」は比較的基本的な字、「酱」はやや新規だが“醤(酱)”を連想でき、料理関連で出現頻度も高い。
22. marcipan
    * 杏仁糖
    * 選定理由: マジパン（Marzipan）は主成分がアーモンド(杏仁)と砂糖(糖)の菓子。中国語では説明的に「杏仁糖」などと表現される。
    * 学習コスト: 三字だが「杏」「仁」「糖」といずれも食関連で使用頻度は比較的高い。
23. majolik
    * 陶
    * 選定理由: マジョリカ焼きは陶器の一種。広義の“陶(器)”でまとめてしまうのが最も簡潔。
    * 学習コスト: 単字で画数も多くなく、日本語の“陶芸”などとも対応。
24. makaron
    * 马卡龙
    * 選定理由: マカロンは中国語では「马卡龙」と音訳されるのが一般的。
    * 学習コスト: 三字構成だが、中国語では広く定着している音訳表現。日本語でも“馬＋卡＋龍”はある程度イメージしやすいかもしれない。

makaroni / 通心粉 / 中国語で一般的な名称 / 「通」「心」「粉」は画数・頻度とも比較的学習しやすい

* mustard / 芥末 / 中国語でも「芥末」が一般的 / 「芥」「末」は比較的基本的な漢字で、日本人にも連想しやすい
* mespil / （未対応 or 欧楂） / 標準的に定まった簡体字表記が非常に少ない果物 / 日中ともに馴染み薄く、一旦は「未対応」または仮に「欧楂」などで対応可
* mangan / 锰 / 化学元素名で正式名称 / 「钅」偏は金属を示すため学習しやすいが、日本語話者にはやや見慣れない
* margarin / 人造黄油 / 中国語で「人工のバター」を意味する一般的表現 / やや長めだが「人」「造」「黄」「油」は頻度高め
* muslin / 平纹细布（または未対応） / 中国語では「平纹细布」が通例だが長いため学習負荷がやや大きい / 簡略化は難しく未対応も選択肢
* mandolin / 曼陀林 / 音訳として確立された表現 / 「曼」「陀」「林」は多少画数が多いが、音訳語として広く通用
* marin / 腌 / 「マリネする／漬け込む」の意味に近い / 単字「腌」は“漬ける・塩漬けする”などを含み、画数はやや多め(12画)だが短くまとめられる
* morfin / 吗啡 / 中国語の正式名 / 「吗」「啡」は外来語表記で画数はやや多いが、医療関連で定着
* mirh / 没药 / ミルラの樹脂を指す中国語名 / 「没」「药」ともに頻出漢字であり、2文字でわかりやすい
* mirt / 桃金娘 / 「ミルタ」を指す標準的名称 / 3文字で画数やや多めだが、植物名として定着している
* damask / 绫 / ダマスク織の一種を指す際、単字「绫(綾)」が比較的近似 / 短い分、学習コストは抑えられる
* makadam / 碎石 / マカダム(砕石道路)を表す際の一般語 / 「碎」「石」ともに初級レベルで画数も多くない
* mozaik / 马赛克 / 中国語で定着した音訳 / 「马」「赛」「克」は外来語表記に多用されるため、他の単語にも転用しやすい
* mask / 面具 / 「仮面」を意味する常用表現 / 「面」「具」は基本語彙で、学習もしやすい
* masaĝ / 按摩 / 「マッサージ」を指す最も一般的な中国語 / 「按」「摩」は身体動作系で他単語にも応用可能
* framason / 共济会 / フリーメーソンを指す中国語固有名詞 / 「共」「济」「会」はそれぞれ常用字で汎用性あり
* mes / 弥撒 / カトリックのミサを指す一般的表現 / 「弥」「撒」はやや特殊だが、キリスト教関連用語として定着
* mesi / 弥赛亚 / メシアを指す音訳 / 「弥」「赛」「亚」は他の音訳(例: 马赛克など)でも用いられ、転用可能
* mana / 吗哪 / 旧約聖書由来の「マナ」を音訳 / 「吗」「哪」は他の外来語や疑問詞等で目にする機会あり
* madon / 圣母 / 「聖母マリア」や「マドンナ」の意 / 「圣」「母」は宗教・一般語彙ともに頻出
* drak / 龙 / 「竜」を指す最も基本的な1文字 / 画数も5画と少なく、象徴的意味も強い
* dragon / 龙骑兵 / 「竜騎兵」の意で中国語でも「龙骑兵」が一般的 / 「龙」「骑」「兵」いずれも頻度が高く学びやすい
* taler / 塔勒 / ターレル貨幣の音訳例 / 「塔」「勒」は他の外来語表記(例: タロット=塔罗)にも転用しやすい
* tarok / 塔罗 / タロ(タロック)の簡略音訳 / 本来「塔罗牌」と3字だが、カードを意味する「牌」省略で2字に短縮

car

* + 沙皇
  + 理由: ロシア皇帝(ツァーリ)の中国語訳として定着している表現。日本語話者も「皇」の字で“皇帝”を連想しやすい。
  + 学習コスト: 「沙(砂)」と「皇」はいずれも頻出度が比較的高く、今後も転用しやすい。

1. teror
   * 恐怖
   * 理由: 「terror=恐怖」という意味に最も近い簡明な表現。日本語の「恐怖」と同じ漢字であり、両言語話者にわかりやすい。
   * 学習コスト: 「恐」「怖」は画数はそこそこだが、どちらもよく使われる字であり再利用しやすい。
2. nimb
   * 光环
   * 理由: 「nimbus(後光・光輪)」を指す際、現代中国語で「光环」は“(頭部・物体のまわりに生じる)光の輪”の意味として通じる。
   * 学習コスト: 「光」や「环」は非常に常用度が高く、他の語根にも転用しやすい。
3. aŭreol
   * 光环
   * 理由: 「aureole(後光、光背)」も「光环」として同様に表せる。nimbとの重複を恐れず、同じ表現を使い回す方針。
   * 学習コスト: 既出の「光」「环」を再利用できるため学習コスト低減につながる。
4. ambr
   * 龙涎香
   * 理由: 竜涎香(ambergris)の正確な中国語表現。琥珀(琥珀樹脂)とは別物のため、「龙涎香」が適切。
   * 学習コスト: 「龙(竜)」「香(香り)」は比較的頻出だが、「涎」はややマイナー。しかし固有名詞のため妥協が必要。
5. iris
   * 虹膜
   * 理由: 眼の“虹彩(iris)”は現代中国語で「虹膜」と呼ぶのが一般的(“膜”＝膜状組織の意)。
   * 学習コスト: 「虹」は再利用可能(虹、彩、光…など)、ただ「膜」は若干画数が多いが医学用語として定着。
6. uzur
   * 高利贷
   * 理由: “usury(高利貸し)”を直接表す中国語。「高利」だけだと単に“高い利息”なので、実際の「高利貸」または「高利贷」が自然。
   * 学習コスト: 「高」「利」「贷」はいずれも常用度が高く、他のビジネス関連語にも転用しやすい。
7. raben
   * 拉比
   * 理由: ユダヤ教の“ラビ”を音訳した一般的な表現。簡潔で分かりやすい。
   * 学習コスト: 「拉」や「比」は頻繁に使われる字(“引く”“比べる”)であり、学習コストは比較的低い。
8. kabal
   * 卡巴拉
   * 理由: ユダヤ神秘主義「カバラ」の音訳。中国語では「卡巴拉」が標準的。
   * 学習コスト: 全てカタカナの音訳を漢字に置き換えた形だが、いずれも比較的よく見かける音訳用漢字(卡/巴/拉)で構成される。
9. rut

* 芸香
* 理由: ヘンルーダ(ルー)は中国語で「芸香」と呼ばれる。芸香科(Rutaceae)の語源にも合致。
* 学習コスト: 「芸」「香」はともに基本的で、匂いや芸術など他の文脈でも使われる頻度が高い。

1. hidr

* 水螅
* 理由: 淡水性ヒドラ(動物)は中国語で一般に「水螅」と表記する。
* 学習コスト: 「水」は最頻出偏旁の1つ。「螅」はやや珍しいが、生物用語として定着している。

1. harpi

* 鹰身女妖
* 理由: ギリシャ神話の“ハルピュイア(ハーピー)”は、中国語で「鹰身女妖」(鷹の身を持つ女の妖怪)と表現されることが多い。
* 学習コスト: 4字とも比較的よく見る字だが、合成するとファンタジー系表現になるため固有の慣用語として認識。

1. harpun

* 鱼叉
* 理由: 銛(ハープーン)として中国語では「鱼叉」が簡明。魚を突く道具の意味として定着。
* 学習コスト: 「鱼(魚)」「叉(分岐する道具)」はどちらも基本的な字で汎用性が高い。

1. feŭd

* 封地
* 理由: 「封土」よりも「封地」の方が、“領地として封じられた土地”という意味がはっきり伝わる。
* 学習コスト: 「封」「地」は共に非常に多用される漢字で、他の語根にも応用しやすい。

1. mandaren

* 官吏
* 理由: 清代に限らず、中国の官僚を総称する場合「官吏」が最も伝統的。現代語の「普通话(Mandarin language)」とは別。
* 学習コスト: 「官」「吏」はいずれも画数はやや多いが、歴史・政治関連で高頻度に登場。

1. dinasti

* 王朝
* 理由: 「dynasty=王朝」は日本語話者にも意味が把握しやすい。中国語でも“君主制の歴代王権”を指す際に一般的。
* 学習コスト: 「王」「朝」はどちらも最頻出クラスの字で、再利用面でも有利。

1. patrici

* 贵族
* 理由: 「patrician=貴族」。中国語では「贵族」がわかりやすい。
* 学習コスト: 「贵」「族」はともに常用度が高く、身分・社会階層などの関連語にも応用可能。

1. kavalir

* 骑士
* 理由: 騎士(カヴァリール)は中国語で「骑士」が一般的。中世ヨーロッパなどの騎士階級を表す。
* 学習コスト: 「骑」「士」は日常でもよく出る字(騎車/士兵等)。画数も比較的少ない。

1. gladiator

* 角斗士
* 理由: 剣闘士(グラディエーター)を指す最も標準的な中国語。
* 学習コスト: 「角」「斗」「士」はいずれも基本字。組み合わせが独特だが、常見の歴史用語。

1. hero

* 英雄
* 理由: 英雄を指す直截的な表現。日本語でも同じ形の熟語を使う。
* 学習コスト: 「英」「雄」はともに常用で、「英雄」は非常に馴染みある二字熟語。

1. triumf

* 凯旋
* 理由: 凱旋(=勝利して帰還すること)を現代中国語では「凯旋」と書く。「胜利」(勝利)よりも古典的ニュアンスが強い。
* 学習コスト: 「凯」は簡体字で画数は少なめ、「旋」も比較的よく使う語。

1. ostracism

* 陶片放逐
* 理由: 古代アテネの“陶片追放”を指す標準的な中国語表現の一つ。「陶片放逐制」とも。
* 学習コスト: 「陶」「片」「放」「逐」は日常語としてはやや難もあるが、歴史用語として定着している。

1. obelisk

* 方尖碑
* 理由: オベリスク(エジプトなどの尖塔)は中国語で「方尖碑」が定訳。
* 学習コスト: 「方」「尖」「碑」は比較的基本要素。組み合わせでオベリスクを表す慣用語。

1. orgi

* 酒神祭
* 理由: 古代ローマやギリシャの“バッカス祭(酒神バックスの狂宴)”をイメージする場合、「酒神祭」がわかりやすい。
* 学習コスト: 「酒」「神」「祭」いずれも非常に頻出度が高い字で、他の祭礼や神話関連でも流用可能。

1. bazilik

* 巴西利卡
* 理由: バジリカ(古代ローマの公共大建築、または大聖堂の一種)を音訳した形が一般的。「大教堂」だとカテドラル含意が強い。
* 学習コスト: 「巴」「西」「利」「卡」は音訳によく登場する字で、外来語をまとめて覚えるのにも向いている。

1. korsar
   * 海盗
   * 理由: 「corsair」は広義で海賊・私掠船を指し、中国語でも「海盗」が分かりやすい。
   * 学習コスト: 「海」「盗」は後述のpiratなどとも共通化可能。将来的に上付き文字等で区別予定。
2. matador
   * 斗牛士
   * 理由: スペイン闘牛の“牛と闘う人”として、中国語では「斗牛士」表記が通じやすい。
   * 学習コスト: 「斗」「牛」「士」はいずれも画数が比較的少なく、日本語圏にもイメージしやすい。
3. toreador
   * 斗牛士
   * 理由: 「matador」とほぼ同義で闘牛士を指すため、同じ「斗牛士」で対応して区別は上付き文字等で行う。
   * 学習コスト: 上記と同様。
4. ulan
   * 枪骑兵
   * 理由: 「槍騎兵」に相当する。中国語では「枪(槍)＋骑(騎)＋兵」が自然。
   * 学習コスト: 「兵」は他の軍事語(下記参照)と共通利用可。「枪」「骑」も軽騎兵などで再利用。
5. husar
   * 轻骑兵
   * 理由: 「軽騎兵」に相当。中国語で「轻(軽)＋骑(騎)＋兵」の組合せが最も分かりやすい。
   * 学習コスト: 「骑」「兵」は既出、「轻」は新出だが比較的画数少なめ。
6. soldat
   * 士兵
   * 理由: 一般的な「兵士」に相当。中国語でも「士兵」が標準的。
   * 学習コスト: 「士」は闘牛士で既出、「兵」は軍事関連で今後も転用可能。
7. ĝendarm
   * 宪兵
   * 理由: 「憲兵」の簡体字。軍や警察的役割がある者を指す標準訳。
   * 学習コスト: 「宪」は新出だが常用字。「兵」は既出。
8. dromedar
   * 单峰骆驼
   * 理由: ヒトコブラクダは中国語で「单峰骆驼」(単峰ラクダ)が一般的。
   * 学習コスト: 4文字とやや長めだが動物名として定着しており、他に簡潔な通称が少ない。
9. vampir
   * 吸血鬼
   * 理由: 吸血鬼を指す標準的な表現。日本語圏にも馴染みがある。
   * 学習コスト: 3文字だが、中国語においても非常に一般的。
10. kanibal

* 食人族
* 理由: 食人種・カニバリズムを表すときによく使われる「食人族」が分かりやすい。
* 学習コスト: 「人」は今後も頻出、「食」「族」も比較的基本的な漢字。

1. pirat

* 海盗
* 理由: 海賊を指す標準訳。korsar と同様、必要に応じて上付きなどで区別可。
* 学習コスト: 「海」「盗」は既出(korsar 参照)で学習コストを削減。

1. bandit

* 土匪
* 理由: 山賊・土匪の意。現代中国語では「土匪」のほうが自然。
* 学習コスト: 新出の「土」「匪」だが、ともに比較的常用。

1. fripon

* 骗子
* 理由: 詐欺師・ペテン師に相当する最も一般的な2文字表現。「骗子」は「騙子」の簡体。
* 学習コスト: 「骗」は画数こそ多めだが、よく使われる語。「子」は初級レベルの字。

1. arleken

* 小丑
* 理由: ピエロ・道化者を指す中国語として「小丑」が分かりやすく常用。
* 学習コスト: 「小」は初級字、「丑」も画数が少ない。

1. amator

* 业余
* 理由: 「アマチュア」や「素人」の意を2文字で簡潔に示すには「业余」が一般的(形容詞的にも使える)。
* 学習コスト: 「业(業)」「余」はいずれも比較的基本的な簡体字。

1. veteran

* 老手
* 理由: 経験豊富なベテランを広く指す。スポーツ・仕事・ゲームなど分野を問わず使える。
* 学習コスト: 「老」はよく使われる字、「手」も画数が少ない。

1. aventur

* 冒险
* 理由: 「冒険」の意。簡体で2文字「冒险」が広く通じる。
* 学習コスト: 「险」はやや画数あるが基本単語。「冒」は比較的認知しやすい。

1. pionir

* 开拓者
* 理由: 「開拓者」の意。中国語で「开拓者」が最も一般的。
* 学習コスト: 3文字だが「开」「拓」「者」はいずれも常用で、組み合わせも理解しやすい。

1. laŭreat

* 冠军
* 理由: 「優勝者」＝チャンピオンを2文字で示す最も簡便な表記が「冠军」。
* 学習コスト: 「冠」「军」はともにスポーツ関連などで頻出。

1. impresari

* 主办人
* 理由: 興行主・主催者の意味として「主办人」が比較的分かりやすい。
* 学習コスト: 「主」「办」「人」はいずれも日常語彙として認知度が高い。

1. aktor

* 演员
* 理由: 「俳優」に相当。中国語では「演员」が最も一般的な2文字表現。
* 学習コスト: 「演」「员」は文化関連の語でよく使われる。

1. protagonist

* 主角
* 理由: 「主役」の意。中国語で「主角」はドラマ・映画・演劇などで広く使われる。
* 学習コスト: 「主」は既出、「角」はやや画数あるが常用。

1. gudr

* 焦油
* 理由: タールを示す標準的な化学・工業系用語。
* 学習コスト: 2文字ながら専門用語としては一般的。「油」は他でも利用頻度が高い。

1. torf

* 泥炭
* 理由: 泥炭(ピート)を指す地質・燃料関連の用語として「泥炭」が定着。
* 学習コスト: 「泥」「炭」はどちらも比較的基礎的な字。

1. karbon

* 碳
* 理由: 炭素を指す現代中国語の標準表記。簡潔かつ化学用語として正確。
* 学習コスト: 1文字で済み、化学分野では最頻出レベル。

1. karb/煤/中国語で「石炭」を意味する常用字。日本語でも炭系のイメージを連想しやすい/画数はやや多いが、1文字でcoalを示せるため採用
2. fulg/煤/すす・煤煙のイメージに近く、中国語の「煤烟」「煤灰」に通じる/上記(karb)と同字を使い回すことで学習コストを削減
3. grafit/石墨/中国語で「黒鉛」を表す一般的な名称で、日本語「石墨」とも同形/「石」+「墨」の組み合わせは他の鉱物系にも応用可能
4. zink/锌/中国語で「亜鉛」を指す常用字。画数も比較的少ない/金属を示す「钅」偏を含み、他の金属関連漢字と合わせて学習しやすい
5. plumb/铅/中国語で「鉛」を意味する常用字/こちらも「钅」偏で統一でき、金属関連語彙の学習が簡便
6. fosfor/磷/中国語で「リン」を示す常用字/「石」偏を使っており、鉱物・化学物質の表記としてまとまりやすい
7. akvafort/硝酸/「硝酸」(nitric acid)を指す標準的な中国語表記/「酸」の部分は他の酸にも転用可能だが、ここでは特定の酸として2文字採用
8. hidrarg/汞/中国語で水銀(Hg)を表す1文字。画数が少なく分かりやすい/単独で金属水銀を示せるため学習負担が小さい
9. latun/黄铜/中国語で「真ちゅう」を示す熟語/「黄」と「铜」いずれも頻出漢字のため、学習コストを分散できる
10. kupr/铜/中国語で「銅」を意味する1文字/「钅」偏で金属カテゴリを統一し、関連語の学習を容易にする
11. bronz/青铜/中国語で「青銅」を指す熟語/既出の「铜」を再利用し、追加漢字は「青」のみで抑えられる
12. cement/水泥/中国語で「セメント」を意味する一般的な熟語/「水」「泥」は画数が少なく、他の場面でも応用可能
13. stan/锡/中国語で「スズ」を示す常用字/「钅」偏で金属カテゴリと統一でき、学習しやすい
14. diamant/钻石/中国語で「ダイヤモンド」を意味する熟語/「钻」(金属+占)と「石」を組み合わせ、宝石と認識しやすい
15. smerald/绿宝石/中国語で「エメラルド」を指す一般的名称(「緑の宝石」)/「绿」「宝」「石」の組み合わせは他の宝石類にも応用可能
16. ametist/紫水晶/中国語で「アメジスト」を表す一般的名称/「紫」「水」「晶」に分解でき、色＋結晶という構造で学習しやすい
17. emajl/珐琅/中国語で「エナメル」を意味する表記(「搪瓷」とも)/宝石・装飾関連である「王」偏を含むため連想しやすい
18. ebur/象牙/中国語で「象牙」を指す熟語/「象」「牙」ともに日本語にもある漢字で直感的に把握可能
19. tombak/假金/「人造金」をイメージできる2文字熟語(「仿金」も可)/既出の「金」を再利用しつつ“擬似的”意味が伝わる
20. platen/铂金/中国語で「プラチナ」を意味する表記(「白金」とも)/「钅」偏＋「金」で金属カテゴリとの関連を示す
21. arĝent/银/中国語で「銀」を意味する常用字/やや画数は多いが単字で定着しており学習しやすい
22. or/金/中国語で「金」を表す基本字。ゴールドそのもの/金属一般の意味も持つため汎用性が高い
23. alumini/铝/中国語で「アルミニウム」を示す常用字/「钅」偏で金属カテゴリとして統合しやすい
24. metal/金属/中国語で「金属」を指す熟語/既出「金」に「属」を加えた形で、総体的な概念を示せる
25. fer/铁/中国語で「鉄」を意味する常用字/「钅」偏で金属カテゴリを統一し、関連語との学習を簡便化
26. ŝtal / 钢 /
    * 選定理由: 鋼鉄を意味する簡体字として標準的。日本語の「鋼」にも対応しており、比較的意味を推測しやすい。
    * 学習コスト: 画数は少なめ(5～6画程度)。広く使われる漢字で汎用性も高い。
27. naft / 石脑油 /
    * 選定理由: 中国語でナフサ(naphtha)の一般的な訳語。「石脑油」は化学や工業分野で通用度が高い。
    * 学習コスト: 3文字だが、それぞれが頻出漢字(「石」「脑」「油」)なので流用もしやすい。
28. naftalin / 萘 /
    * 選定理由: ナフタレンの中国語化学名。単独1文字で表せる標準用語。
    * 学習コスト: 画数はやや多めだが(11画程度)、専門用語として定着しているため選定。
29. nilon / 尼龙 /
    * 選定理由: ナイロンを示す簡体字の一般的音訳。中国語圏で広く通用。
    * 学習コスト: 全体で2文字・各5画前後と比較的少なく済む。
30. azot / 氮 /
    * 選定理由: 窒素を意味する化学用漢字(元素名)として中国語で広く使われる。
    * 学習コスト: 化学分野以外ではやや専門的だが、1文字表記で簡潔。
31. salpetr / 硝石 /
    * 選定理由: 中国語で塩硝(硝酸カリウム)を指す代表的用語。日本語「硝石」と同形で意味も近い。
    * 学習コスト: 2文字だが「硝」「石」ともに比較的よく使われる部首・漢字。
32. natri / 钠 /
    * 選定理由: ナトリウム元素(Na)の中国語名。
    * 学習コスト: 1文字で済むが、やや専門的。画数は7画程度と多くはない。
33. retort / 蒸馏瓶 /
    * 選定理由: レトルト(蒸留用の曲頸瓶)を指す一般的中国語表現。「蒸馏瓶」が通用名。
    * 学習コスト: 3文字だが、それぞれ頻出漢字であり、化学器具としては妥当。
34. eter / 醚 /
    * 選定理由: エーテル(ether)を示す簡体字単語。特に有機化学で「～醚」の形で広く使われる。
    * 学習コスト: 1文字だが専門用。画数はやや多め(14画前後)。
35. ermen / 鼬 /

* 選定理由: イタチ類(特に鼬鼠)を指す漢字。エルミン(オコジョ)を単独漢字で表すのは難しいが、最も近い表記。
* 学習コスト: 1文字だが画数は多め(17画程度)。動物名としてはやや専門的。

1. genot / 灵猫 /

* 選定理由: ジェネット(genet)を指す場合、中国語圏では「灵猫」と称されることが多い(シベット類やジャコウネコ類とも近縁)。
* 学習コスト: 2文字ながら、それぞれ比較的基本的な部首・構造。

1. gelaten / 明胶 /

* 選定理由: ゼラチンの一般的な中国語。「明胶」が食品・工業両面で通用。
* 学習コスト: 2文字でそこそこ使われる漢字なので再利用性もあり。

1. gilotin / 断头台 /

* 選定理由: ギロチンを指す代表的中国語表現。歴史・処刑具として定着した名称。
* 学習コスト: 3文字だがいずれも常用漢字で、他への転用もありうる。

1. galantin / 加兰丁 /

* 選定理由: ガランティーヌの音訳表記として比較的見られる形(「加兰坦」「加仑丁」などもある)。
* 学習コスト: 3文字ともに音訳専用だが、料理関連用語として妥当。

1. gras / 脂 /

* 選定理由: 油脂・脂肪を指す常用要素。日本語「脂肪」の「脂」と同源で意味も取りやすい。
* 学習コスト: 1文字でシンプル。後述の獣脂などとも兼用可。

1. seb / 脂 /

* 選定理由: 獣脂(すえ)も広義の脂に含まれるため、単独漢字「脂」を再利用。
* 学習コスト: 前項と同じく1文字再利用で学習コストを削減。

1. buter / 黄油 /

* 選定理由: 中国語でバターは「黄油」が最も一般的(「奶油」はクリーム含意が強い)。
* 学習コスト: 2文字。「黄」「油」は他項でも使われる可能性大。

1. ole / 油 /

* 選定理由: 一般に「油」を示す最基本字。日本語でも「油」として共通。
* 学習コスト: 単独1文字で、すでに他項にも多用。

1. benzin / 汽油 /

* 選定理由: ガソリンを意味する中国語の一般名称。「汽油」。
* 学習コスト: 2文字で画数も抑えめ。既出の「油」を再利用できる。

1. petrol / 石油 /

* 選定理由: 石油・原油を指す最も一般的表記。「石油」。
* 学習コスト: 2文字の常用漢字で、「石」と「油」は既出活用可能。

1. hidrogen / 氢 /

* 選定理由: 水素の簡体字元素表記。日本語の「水素」とは異なるが、中国語ではこれが標準。
* 学習コスト: 専門性は高いが1文字で画数も5画程度と少ない。

1. arsenik / 砒霜 /

* 選定理由: 亜ヒ酸(三酸化ヒ素)の代表的呼称。元素As(砷)との区別もあるが、毒物としては「砒霜」が通用名。
* 学習コスト: 2文字。「砒」はやや専門的だが、化学系では一定頻度あり。

1. oksigen / 氧 /

* 選定理由: 酸素元素の簡体字表記。日本語の「酸素」とは別表記だが、中国語で標準。
* 学習コスト: 1文字で画数は少なめ。化学元素としては汎用。

1. oksid / 氧化物 /

* 選定理由: 酸化物を表す一般的な専門用語。「氧化」だけだと動詞的にも使うため、名詞形として「物」を付加。
* 学習コスト: 3文字だが「氧」「化」「物」は化学や他分野でも再使用しやすい。

1. potas / 苛性钾 /

* 選定理由: カ性カリ(苛性カリ)＝水酸化カリウム(KOH)の古くからの中国語名称。「氢氧化钾」よりは短くまとまる。
* 学習コスト: 3文字だが、比較的よく使われる部首・字形。「苛」「性」「钾」も化学用語として妥当。

sulfur

* + 提案: 硫
  + 理由: 中国語の「硫」(liú)は「硫磺(=硫黄)」の略表記に相当し、「硫化物」「硫黄」などに広く用いられる。日本語でも「硫黄」の一文字目として認知しやすい。
  + 学習コスト: 「石」偏は他の鉱物関連でも登場しやすいので汎用性がある。

1. vitriol
   * 提案: 硫酸
   * 理由: 「ビトリオール」は硫酸塩系の総称だが、代表的には「硫酸(sulfuric acid)」を指す場合が多いので、中国語でも「硫酸」が最も通じやすい。
   * 学習コスト: 「硫」は上記(sulfur)と共通、「酸」は酸性を示す常用字。
2. vinagr
   * 提案: 醋
   * 理由: 中国語でお酢は「醋」。日本語では「酢」が一般的だが、本タスクは簡体字優先のため「醋」を採用。発酵由来の字形(酉偏)で連想しやすい。
   * 学習コスト: 「醋」は日本人にはやや馴染み薄いが、「酉(酒に関する偏旁)」の再利用があり、意味は推測しやすい。
3. pekl (to pickle in salt)
   * 提案: 盐腌
   * 理由: 中国語で「塩漬けにする」は「盐腌(yán yān)」が分かりやすい(「腌」は漬け込む意)。既出の「盐(salt)」を再利用。
   * 学習コスト: 「盐」は後述の「sal(=塩)」と共通化可能。「腌」はややマイナーだが、ほかの漬物関連にも使える。
4. sal
   * 提案: 盐
   * 理由: 中国語で「塩」は「盐(yán)」。日本人には「塩」の簡体字だと認識すればOK。
   * 学習コスト: 必須語彙かつ画数も比較的少なめ。
5. koran
   * 提案: 古兰经
   * 理由: 中国語で『コーラン』は「古兰经(gǔ lán jīng)」が正式名称。1文字での表記は存在しない。
   * 学習コスト: 宗教名詞で固有表記。「经」は「経典」を表し、他の宗教聖典にも転用可(例: 圣经=聖書)。
6. kolofon (colophony, rosin)
   * 提案: 松香
   * 理由: ロジン(松やに由来)は中国語で「松香(sōng xiāng)」と呼ぶ。
   * 学習コスト: 「松」(マツ)や「香」(かおり)は日中双方で比較的分かりやすい。
7. koĉenil (cochineal)
   * 提案: 胭脂虫
   * 理由: 中国語でコチニール(虫由来の赤色染料)は「胭脂虫(yān zhī chóng)」が一般的。
   * 学習コスト: 3文字とやや長いが、中国語ではこれが定着した呼称。「胭脂」(紅・口紅)＋「虫」でイメージできる。
8. kinin (quinine)
   * 提案: 奎宁
   * 理由: 「キニーネ」は中国語で「奎宁(kuí níng)」と音訳されるのが一般的。
   * 学習コスト: 音訳系だが、医薬名としてはポピュラー。
9. kalvin (Calvin)

* 提案: 加尔文
* 理由: 神学者ジャン・カルヴァン(John Calvin)は中国語で「加尔文(jiā ěr wén)」と表記。
* 学習コスト: 固有名詞の標準音訳。

1. karaben (carbine)

* 提案: 卡宾枪
* 理由: 中国語では「カービン銃」を「卡宾枪(kǎ bīn qiāng)」などと音訳＋「枪(銃)」。
* 学習コスト: 「枪」は「銃」を示す汎用字。3文字だが軍事用語としては一般的表現。

1. vazelin (Vaseline)

* 提案: 凡士林
* 理由: 中国語でワセリンは「凡士林(fán shì lín)」が一般名称。
* 学習コスト: 3文字だがブランド名としても日本人に馴染みある。

1. celeri (celery)

* 提案: 芹菜
* 理由: 中国語のセロリは「芹菜(qín cài)」。日本語「セロリ」とは表記違いだが、中国では最も通じる名前。
* 学習コスト: 「菜」は野菜全般を表す常用字。「芹」も比較的シンプル。

1. celuloz (cellulose)

* 提案: 纤维素
* 理由: 中国語でセルロースは「纤维素(xiān wéi sù)」が化学名として定着。
* 学習コスト: やや長め(3文字)だが、化学用語として標準。

1. oleandr (oleander)

* 提案: 夹竹桃
* 理由: 中国語でセイヨウキョウチクトウは「夹竹桃(jiā zhú táo)」。
* 学習コスト: 園芸・植物名。3文字だが中国語表記としては一般的。

1. heliotrop (heliotrope)

* 提案: 香水草 ＊(暫定)
* 理由: 「heliotrope(キダチルリソウ)」には確立された一字名はない。品種によっては「香水草」と呼ぶ例もあるが、中国語圏で統一的な呼称が少々曖昧。
* 学習コスト: 固有の園芸名で統一されておらず、やむを得ず推定表記。実用上は未対応扱いも可。

1. citron (果実のシトロン)

* 提案: 香橼
* 理由: シトロン類は中国語で「香橼(xiāng yuán)」(別表記:「枸橼」)。日本語「香」という字から香りの柑橘と推測しやすい。
* 学習コスト: 柑橘系で「香」と「橼(檸檬系の偏旁)」の組合せ。

1. ajl (garlic)

* 提案: 蒜
* 理由: 中国語でニンニクは「蒜(suàn)」または「大蒜(dà suàn)」。短さ優先で「蒜」。
* 学習コスト: 日本人には少し馴染み薄いが、単漢字で汎用性高い。

1. pipr (pepper: 胡椒)

* 提案: 胡椒
* 理由: ブラックペッパー等、香辛料の「こしょう」は中国語で「胡椒(hú jiāo)」。
* 学習コスト: 2文字だが中華料理でも頻出なので認知度は高い。

1. eliksir (elixir)

* 提案: 仙丹
* 理由: 「仙丹(xiān dān)」は「不老不死の霊薬」のイメージで、「elixir」に相当。
* 学習コスト: 「仙」(仙人)＋「丹」(丸薬)で日本人も想像しやすい。

1. alo (aloe)

* 提案: 芦荟
* 理由: 中国語でアロエは「芦荟(lú huì)」が一般的。
* 学習コスト: 2文字。「荟」は少し画数があるが、アロエを指す常用名。

1. ulm (elm)

* 提案: 榆
* 理由: 「榆树(yú shù)」が正式だが、一文字で「榆」とも呼ぶ。
* 学習コスト: 「木」偏の常用樹木名。「树」を省略し学習文字数を削減。

1. irid (iris flower)

* 提案: 鸢尾
* 理由: 中国語でアヤメ・アイリスは「鸢尾(yuān wěi)」。花を明示するなら「鸢尾花」。
* 学習コスト: 「尾」は基本字だが、「鸢」はやや画数多め。とはいえアイリスの一般的名称。

1. orkide (orchid)

* 提案: 兰花
* 理由: 中国語でランは「兰花(lán huā)」。一文字の「兰」でも指せるが、花を付けたほうが通じやすい。
* 学習コスト: 「兰」は画数が少なく、日本人にも「蘭」の簡体字と連想しやすい。

1. glicerin (glycerin)

* 提案: 甘油
* 理由: グリセリンは中国語で「甘油(gān yóu)」。短くシンプル。
* 学習コスト: 「甘」(甘い)＋「油」(油脂)で覚えやすい。

glikoz **/** 糖 **/ 「ブドウ糖」として広く認知される「糖」のイメージが強いため / 「糖」は日本語でも「糖分」として意味がわかりやすく、中国語でも「糖(sugar)」は馴染み深い。画数はやや多め(16画)だが、今後「糖」を他の甘味・糖類を表す語根に転用できる汎用性がある。**

1. glukoz / 糖 / 上記と同義の「ブドウ糖」なので同じ字を割り当て / 同一漢字を使い回すことで学習コスト(漢字種類数)を削減。
2. groŝ / 分 / 価値の小さい貨幣単位というイメージから、中国語の「1角＝10分」「1元＝100分」の最小貨幣「分」を想起 / 画数(4画)が非常に少なく、通貨・小銭のイメージをまとめやすい。
3. gulden / 金 / 「gulden」は語源的にも「gold(ゴールド)」と関連が深いので、単純に「金」を割り当て / 「金」は日本語圏・中国語圏の両方で“金属”や“通貨の価値が高いもの”を連想しやすく、8画と比較的少なめ。
4. kring / 环饼
   * 理由 : 「ring-shaped roll」のイメージから「环(環)＝輪・リング」＋「饼(餅)＝パンや粉ものの総称(中国語で“饼干”など)」と組み合わせ、"輪っか状パン"として直感的に分かりやすいようにした。
   * 学習コスト : 「环」(7画)と「饼」(8画)はどちらも比較的高頻度字。将来的に「饼」はクラッカー・ビスケット系統などにも使える見込みがある。
5. kraken / 饼干
   * 理由 : 中国語で「クラッカー」「ビスケット」全般を「饼干(bǐnggān)」と呼ぶのが最も一般的。
   * 学習コスト : 「饼」(8画)は上記で既出、「干」(3画)は画数が少ないため追加負担が小さい。実際の中国語ですぐ通じる点もメリット。
6. emulsi / 乳剂
   * 理由 : 化学的な「エマルション」は中国語で「乳剂(rǔjì)」と呼ばれることが多い。
   * 学習コスト : 「乳」(5画)は後述の「乳製品」関連に多用できるので汎用性が高い。「剂」(6画)も医薬関連でしばしば登場。
7. kaze / 乳块
   * 理由 : 「凝乳」「カード(curd)」は中国語では「凝乳(níng rǔ)」などが正確だが、「凝」は画数(15画)がやや多い。そこで「乳块(＝ミルクの塊)」という造語気味ではあるが、直感的に「固形化した乳製品」を表しやすい簡便な2字にした。
   * 学習コスト : 「乳」は既出、「块」(7画)は中国語では「塊」の簡体字で日中ともにイメージしやすい。
8. selakt / 乳清
   * 理由 : 「乳清(rǔqīng)」はホエー(whey)の標準的な中国語。
   * 学習コスト : 「乳」は既出、「清」(11画)は比較的高頻度字(“清潔”“清水”など)のため、再利用の可能性もある。
9. melk / 挤乳
   * 理由 : 本来中国語で「牛の乳を搾る」は「挤奶(jǐnǎi)」が一般的だが、ここでは「乳」を統一して使うため、あえて「挤乳」に。語感としてはやや不自然だが「搾乳」のニュアンスは十分伝わる。
   * 学習コスト : 「挤」(5画)は動作(しぼる・押す)を表す字として汎用性がある。「乳」は再利用。
10. lakt / 乳
    * 理由 : 「乳」を“ミルク”の基幹語根として単独割り当て。もっともシンプルに「乳(ru)」のみで「乳汁／ミルク」の意を表せる。
    * 学習コスト : 既出のため追加負担なし。
11. kaĉ / 粥
    * 理由 : 「粥(zhōu)」は日中ともに“かゆ”“お粥”と認識しやすい。
    * 学習コスト : 9画だが比較的よく使われる字。日本語の「粥」と同形で意味も一致する。
12. past / 面团
    * 理由 : 「past」はパン生地・ペースト状のイメージがあるため、中国語で「面团(miàntuán)＝(小麦)粉のかたまり・生地」を採用。
    * 学習コスト : 「面」(8画)は後述「面粉」と共通化、「团」(6画)は団体/集団などにも使える高頻度字。
13. farun / 面粉
    * 理由 : 「farun＝穀粉、フラワー(flour)」なので、中国語の「面粉(miànfěn)」が最適。
    * 学習コスト : 「面」は既出、「粉」(10画)も他の粉類「淀粉」などで使い回せる。
14. glu / 胶
    * 理由 : 「glue＝糨糊・糊・のり」などいろいろあるが、中国語で接着剤や糊全般を広く指す単字としては「胶(jiāo)」が最も代表的。
    * 学習コスト : 10画だが「胶水」「胶带」など日常でも頻繁に登場、再利用価値が高い。
15. amel / 淀粉
    * 理由 : でんぷんを表す中国語の常用語が「淀粉(diànfěn)」。
    * 学習コスト : 「粉」は既出。「淀」(8画)は比較的使用頻度こそ低めだが、「淀粉」は非常に一般的な化学用語。
16. kup / 拔罐
    * 理由 : 「吸い玉」や「カッピング」に当たる標準的な中国語は「拔罐(báguàn)」。実際の治療行為もこの名称。
    * 学習コスト : 「拔」(8画)、「罐」(11画) とやや画数はあるが、医療関連用語としては最も認知度が高い。1文字では意味を十分に表せないため2字熟語を採用。
17. pastel / 糖片
    * 理由 : 「pastille＝錠菓、ドロップ状の菓子」をイメージしやすいよう、「糖(sugar)＋片(slice)」で「糖片」に。
    * 学習コスト : 「糖」は既出、「片」(4画)は画数が少なく、錠剤・切片など他でも応用可能。
18. glazur / 釉
    * 理由 : 「(陶器の)うわ薬」「釉薬」は中国語で「釉(yòu)」が最もストレート。
    * 学習コスト : 12画とそこそこだが、「釉薬」「上釉」など関連語で使われるため、陶芸・化学分野では汎用性が高い。
19. oblat / 片
    * 理由 : オブラートは「薄い膜状・紙状のもの」。中国語で実際には「糯米纸(nuòmǐzhǐ)」などが使われることもあるが、単字なら「片＝スライス・薄片」のイメージで代用。
    * 学習コスト : 「片」は既出(糖片)になる可能性があるため、追加負担は小さい。
20. kataplasm / 膏药
    * 理由 : 「あん法」「湿布薬」「塗布薬」などの総称として、中国では一般に「膏药(gāoyào)」が“貼り付ける外用薬”のイメージに近い。
    * 学習コスト : 「膏」(14画)と「药」(9画)はやや多めだが、外用薬としては比較的通じやすい熟語。
21. kompres / 敷布
    * 理由 : 医療用の「compress＝湿布・ガーゼパッド」。中国語の正規表現は「敷料」「敷布」「湿敷」等があるが、ここでは2文字で簡潔かつイメージしやすい「敷布」に。
    * 学習コスト : 「敷」(10画)は貼り付ける/当てるニュアンスで汎用的、「布」(5画)は布全般を指す高頻度字。
22. cikut / 毒芹
    * 理由 : 「水ヘmlock」「毒セリ」を表す漢字語としては「毒芹(dúqín)」が比較的近い。
    * 学習コスト : 「毒」(9画)と「芹」(7画)はともに基本的な部首構成で理解しやすい。
23. kosmopolit / 世界
    * 理由 : 「コスモポリタン＝世界市民」のニュアンス。厳密には「世界主义」「国际化」等があるが、なるべく短く直観的に「世界」(shìjiè)を採用。
    * 学習コスト : 「世」(5画)「界」(9画) と2文字だが、ともに頻出の常用字。
24. polip / 息肉
    * 理由 : 動物学的ポリプか、医療的ポリープかで異なるが、単に「ポリプ」と言った場合、医学的には「息肉(xīròu)」が定番。
    * 学習コスト : 「息」(9画)「肉」(6画) はともに基礎字で、「呼吸(息)」「肉類」などに転用可能。

poliglot **/** 多语 **/ 「多」(多い)＋「语」(言語)で「多言語話者」を直感的に示すため / 「多」は画数少なく汎用性が高い**

* kali / 钾 / カリウムの標準的な元素記号表記 / 化学分野では常用される1文字で学習負荷も比較的低い
* klor / 氯 / 塩素の標準的な元素記号表記 / 化学分野で常用、画数もさほど多くない
* kolodi / 火棉胶 / 中国語でコロジオンを指す一般的名称（「火棉」= ニトロセルロースの俗称、「胶」= 接着剤や膠の意） / 「火」「棉」「胶」は比較的再利用の可能性がある部首・字形
* sublimat / 氯化汞 / 「昇汞(升汞)」「腐蚀性升汞」などの呼称もあるが、汎用性の高い「氯(＝塩素)」「化」「汞(＝水銀)」の組み合わせで再利用を図る / 既出の「氯」を流用でき、学習コストを抑えられる
* kreozot / 木馏油 / クレオソート（木の乾留による油）を示す常用表記 / 「木」「油」は画数が少なく汎用性も高いため優先
* kristal / 水晶 / 「晶」単独でも「結晶」「輝き」のイメージがあるが、日本人・中国人とも「水晶」の方が結晶石を直接連想しやすい / 画数はやや増えるが理解は容易
* aerolit / 陨石 / 中国語で「隕石(繁体字)」、簡体では「陨石」 / 常用の天文用語であり、字形も比較的シンプル
* lapis / 硝石 / 塩硝・硝酸塩類を指す「塩硝」の代表的表現 / 「石」を再利用でき、化学や鉱物系の文脈で用いられる
* mineral / 矿物 / 「矿」(鉱)＋「物」で「鉱物」を直接示す / 一文字「矿」だと「鉱山・鉱石」の意味合いが強いため、2文字の方が誤解が少ない
* spat / 长石 / スパー系鉱物(特に長石類)の総称として「长石(=feldspar)」がよく用いられる / 「石」を再利用できる
* alabastr / 雪花石膏 / 「雪花石膏」が alabaster の一般的呼称 / 字数は多いが、中国語・日本語ともに「雪花石膏」で通じやすい
* cinabr / 辰砂 / シン砂(辰砂)、硫化水銀鉱物の代表名 / 「砂」を再利用可能
* bazalt / 玄武岩 / 玄武岩の標準的呼称 / 建築・地質分野で常用
* laf / 熔岩 / 溶岩(マグマが噴出したもの)の標準表記。簡体字では「熔岩」 / 地質用語として一般的
* kalk / 石灰 / 石灰を示す代表的な2字熟語 / 「石」を再利用、画数少なめ
* glim / 云母 / 雲母の代表名称 / 「云」と「母」は画数も少なく、再利用が見込める
* sukcen / 琥珀 / 琥珀を示す一般的呼称 / 宝石関連でよく使われる
* agat / 玛瑙 / メノウの中国語表記 / 宝石名として通用し、字形はやや多いが一般的
* beril / 绿柱石 / ベリル(緑柱石) / 「绿」「柱」「石」はそれぞれ再利用性も一定程度あり
* pirit / 黄铁矿 / 黄鉄鉱、パイライトの標準的呼称 / 「铁」「矿」は既出と組み合わせられる
* porfir / 斑岩 / 斑岩の一般名称 / 「岩」は他でも再利用しており、全体の字形も比較的少ない
* malakit / 孔雀石 / 鉱石名として一般的。「孔雀」＋「石」で孔雀に似た色を連想 / 「石」は既出
* kvarc / 石英 / 石英、水晶の一種 / 「石」と「英」は画数が少なく理解しやすい
* silik / 燧石 / 火打石(flint)の代表呼称。「打火石」という俗称もあるが、専門的には「燧石」 / 「石」は共通で再利用

**1) granit / 花岗岩 / 選定理由**

* 理由: 中国語で花岗岩は「花岗岩」が最も一般的な呼称。
* 学習コスト: 「花」「岗」「岩」の3文字導入となるが、「岩」は他の岩石系でも再利用しやすい。

2) marmor / 大理石 / 選定理由

* 理由: 中国語で大理石は「大理石」が標準。日本語でも「大理石」は馴染みがある。
* 学習コスト: 「大」「理」「石」の3文字だが、「石」は以降もよく出るため再利用度が高い。

3) konglomerat / 砾岩 / 選定理由

* 理由: 「砾岩」（礫岩）は中国語の地質用語として標準的。
* 学習コスト: 「砾」は新出だが、「岩」は既出(1)と同じ。

4) stalagmit / 石笋 / 選定理由

* 理由: 「石笋」は“石筍(せきじゅん)”に相当し、stalagmite の標準的な中国語表現。
* 学習コスト: 「石」は再利用、笋(たけのこ偏)は新出。

5) stalaktit / 钟乳石 / 選定理由

* 理由: 「钟乳石」はstalactite を指す最も一般的な語。
* 学習コスト: 「石」は再利用、鐘(钟)・乳 は新規。

6) ardez / 板岩 / 選定理由

* 理由: 「板岩」はslateの標準訳。
* 学習コスト: 「岩」は既出(1)・(3)と同じ、「板」は新出だが画数は比較的少ない。

7) talk / 滑石 / 選定理由

* 理由: 「滑石」はtalc（滑石）の標準的呼称。
* 学習コスト: 「石」は再利用、「滑」は新規導入。

8) porcelan / 瓷 / 選定理由

* 理由: 「瓷」(単独)は「陶瓷(陶磁)」のうち磁器部分を指す簡体字。1文字で「磁器」を表せる。
* 学習コスト: 1文字のみで明確。

9) fajenc / 陶土 / 選定理由

* 理由: 「陶土」は「陶器の原料」として分かりやすい標準的用語。
* 学習コスト: 「陶」は新規、「土」は画数が少なく再利用の可能性もある。

10) ceramik / 陶瓷 / 選定理由

* 理由: 「陶瓷」は「セラミック」全般を指す中国語表現。既に「陶」「瓷」が登場しているので再利用度も高い。
* 学習コスト: すべて既出(9)・(8)の組合せ。

11) plast / 塑料 / 選定理由

* 理由: プラスチック=「塑料」は中国語で最も一般的。
* 学習コスト: 「塑」「料」はやや画数多めだが、汎用表現。

12) ken / 树脂木 / 選定理由

* 理由: 原義「樹脂材」「resin-wood」のニュアンスを伝えるため、「树脂＋木」を組み合わせた造語的表現。
* 学習コスト: 「树」「脂」は後述(13)「树脂」と共通、「木」は基本漢字で学習しやすい。

13) rezin / 树脂 / 選定理由

* 理由: 「树脂」は「レジン」の一般的な中国語。
* 学習コスト: (12)で導入した「树」「脂」を再利用。

14) kaŭĉuk / 橡胶 / 選定理由

* 理由: 「橡胶」はゴム(天然ゴム)を表す中国語。
* 学習コスト: 「胶」は (15) と共用可能、「橡」は新規導入。

15) gum / 胶 / 選定理由

* 理由: 「胶」は「膠・ゴム質・のり状物質」を表す汎用的な1文字。
* 学習コスト: (14) で導入した「胶」を単独再利用。

16) ruin / 废墟 / 選定理由

* 理由: 「废墟」は「廃墟・荒廃した跡地」を意味する標準表現。
* 学習コスト: 「废」「墟」新規だが、どちらも比較的常用。

17) rub / 瓦砾 / 選定理由

* 理由: 「瓦砾」は「がれき・瓦礫」の一般的表現。
* 学習コスト: 「瓦」は新規だが簡単、「砾」は(3)「砾岩」で既出。

18) kot / 泥 / 選定理由

* 理由: 「泥」で「泥・どろ」を示す最も単純な表記。
* 学習コスト: 1文字のみで済む。

19) ŝlim / 泥 / 選定理由

* 理由: 「ŝlim」(泥・どろどろ)も上と近い概念なので同じ「泥」を再利用可。
* 学習コスト: (18) と同一文字。

20) argil / 粘土 / 選定理由

* 理由: 「粘土」は標準語。陶芸用クレイを指す時もよく使われる。
* 学習コスト: 「粘」新規、「土」は(9)で既出。

21) sabl / 砂 / 選定理由

* 理由: 「砂」は「砂・すな」そのもの。1文字でシンプル。
* 学習コスト: 1文字のみで汎用性高い。

22) gruz / 砂砾 / 選定理由

* 理由: 「砂砾」=「砂利」(gravel)。すでに「砂」(21)、「砾」(3) があるので再利用可能。
* 学習コスト: 完全再利用。

23) polv / 尘 / 選定理由

* 理由: 「尘」(塵の簡体)は「ほこり・ちり」を示し、画数も少ない。
* 学習コスト: 1文字。日本語話者にはやや見慣れない簡体字だが単純で習得しやすい。

24) makul / 污点 / 選定理由

* 理由: 「污点」は「汚れ・しみ・汚点」の意味で使いやすい。
* 学習コスト: 「污」「点」はどちらも比較的日常語で、画数も多すぎない。

25) cindr / 灰 / 選定理由

* 理由: 「灰」は「灰・灰分」を表す最も簡明な1文字。
* 学習コスト: 新規1文字だが画数少なめ。

**1) feĉ/渣/「渣」は滓(かす)・かすの意があり、澱(おり)や残渣を表すのに適当/1文字で表現でき、意味もはっきりしているため学習コストを抑えられる**

**2) rust/锈/「锈」は金属のさびを指す常用字/画数も比較的少なく、日本語の「錆」の簡体字としてもイメージがつかみやすい**

**3) boraks/硼砂/化学的に「硼砂」が定訳/専門用語だが、中国語では一般的な表記なので誤解がない**

**4) hum/腐殖土/「腐植土」の意で、中国語では「腐殖土」や「腐殖质」が用いられるが土壌としては「腐殖土」が分かりやすい/文字数は多いが専門用語としてやむを得ない**

**5) pavim/路面/舗装された道路面を指すのに「路面」が広く通用/「路」「面」ともに頻出字で学習コストも比較的低い**

**6) bitum/沥青/ビチューメン(瀝青)の標準訳として「沥青」が定着/画数もそこまで多くなく、中国語圏ではアスファルト全般を指すことが多い**

**7) asfalt/沥青/アスファルトも「沥青」で通用するため再利用/bitum と同義近似のため同じ表記で学習コストを抑える**

**8) gips/石膏/石膏の定訳として「石膏」が標準/「石」「膏」ともに常用字**

**9) kambi/汇票/為替手形の中国語訳として「汇票」が一般的/「汇」は「集める」の意も含み、金融用語として定着**

**10) pamflet/小册子/パンフレット・小冊子を指す「小册子」が自然/「小」「册」「子」はどれも基礎的な字**

**11) bilet/票/切符・チケットの基本訳である「票」で簡潔に表せる/すでに「票」は広く「切符」の意に用いられる**

**12) kupon/券/クーポンを表すのに「券」が汎用的(优惠券など)/「票」と似た機能をもつがニュアンス区別のためあえて別字**

**13) kart/卡/カード全般を示すのに、中国語では「卡」を広く使用/最小限の画数で済み、外来語感がつかみやすい**

**14) slip/纸条/メモ用紙や小片を意味するのに「纸条」が分かりやすい/「纸」「条」ともによく使われる字**

**15) afrank/贴邮票/切手を貼る・郵便料金を前納する意味を表しやすい/「贴」「邮」「票」はいずれも常用で、すでに「票」は再利用**

**16) atut/王牌/切り札・トランプのエースを指す際に「王牌」が代表的/「王」はごく基本、「牌」も比較的よく出る**

**17) kopi/复制/複写する・コピーするの意で最も一般的/「复」「制」も頻出度が高く、意味がはっきりしている**

**18) kopi##/复制/名詞としての「複写」も同じ「复制」で包含可能/同形で統一すれば学習コスト削減**

**19) litograf/石印/石版印刷の略称として古くから「石印」が用いられる/3文字(石版印)に比べ簡潔なので提案**

**20) litografi/石版印刷/「石版印刷」自体がリトグラフ印刷術として標準/やや文字数は多いが専門用語として定着**

**21) tipograf/活字工/活版印刷の文字組みを担う技術者を示すのに「活字工」/「活字」は日本人にも通じる表現**

**22) pres/印刷/印刷する動作を表す一般語として「印刷」/ごく基本的で誤解が生じにくい**

**23) tipografi/活版印刷/活版印刷技術や様式を指す語として最適/日本語の「活版」と同源で意味を把握しやすい**

**24) kliŝ/铅版/ステロ版(鉛版)の意味に最も近い語として「铅版」/「纸型」もあるが鉛版は古典的ステロ版として分かりやすい**

**25) parentez/括号/文章や式で用いるかっこ類(特に丸括弧)の総称として「括号」/日常的によく使われる印刷・記号用語**

kursiv / 斜 / 「斜体」の“斜”でイタリックを連想 / 画数も比較的少なく、日本語「斜体」からも想起しやすい

1. paraf / 署 / 署名(サイン)を連想させる字として選択 / 厳密な“パラフ”とはややズレがあるが、印関連での再利用がしやすい
2. format / 判 / 日本語「判型(判)」に由来 / 中国語では本来「格式」等だが、印刷物のサイズを一文字にまとめる目的で採用
3. rubrik / 题 / 「标题(タイトル)」の“题” / 日本語「題」・中国語「题」の共通イメージがあり、見出し(タイトル)を連想しやすい
4. aline / 段 / 段落・段落分けをイメージ / 「段落」の“段”で改行や字下げを連想できる
5. sardel / 鳀 / アンチョビ・イワシ類を指す“鳀” / anĉov(次項)との共通化を想定、1文字化
6. anĉov / 鳀 / 同じくアンチョビを表す“鳀”で再利用 / sardelとまとめて同字扱いとし、学習コストを抑える
7. sevrug / 鲟 / チョウザメ(sturgeon)を指す“鲟” / sturgなど他のチョウザメ系も同字再利用
8. sturg / 鲟 / チョウザメ一般 / sevrugなどと同一文字で統一
9. sterled / 鲟 / コチョウザメ(sterlet) / 同じく“鲟”で一括
10. huz / 鲟 / ベルーガ(白チョウザメ) / 上記と同字で対応
11. lojt / 鱼 / カワメンタイ(burbot)等の淡水魚 / 個別の単漢字が乏しいため汎用の“鱼”を割り当て
12. kankr / 虾 / ザリガニ(crayfish) / 中国語で「小龙虾」が一般的だが、簡単化と単文字化のため“虾”
13. palinur / 龙虾 / イセエビ(spiny lobster) / 1文字「龙」だと“龍”のみで混同を生むため、2文字熟語「龙虾」を採用
14. rosmar / 海象 / セイウチ(walrus) / 中国語で一般的な2文字熟語「海象」をそのまま採用
15. raj / 魟 / エイ(stingray)を指す“魟” / 「鳐」(ヤオ)などもあるが、比較的画数の少ない魟を選択
16. nas / 网 / やな(魚をとる仕掛け) → 魚網を想起しやすい“网” / 単純かつ学習コストが低い
17. iĥtiokol / 鱼胶 / 魚膠(にべ)・イシングラス / 「鱼」＋「胶」で魚由来の膠を明確化
18. iktiokol / 鱼胶 / 同じく魚膠 / 上記と同義なので同じ熟語で対応
19. kil / 龙骨 / 竜骨(keel) / 中国語では中医などで“龙骨”も使われるため2文字熟語を採用
20. konk / 贝 / 貝殻 / 中国語の部首“贝”で殻全般を連想でき、日本語でも貝部のイメージ
21. ostr / 蚝 / カキ(oyster) / 中国語では「牡蛎」「蚝」などがあるが、1文字化のため“蚝”を選択
22. perk / 鲈 / ペルカ(パーチやバス類) / 中国語の「鲈鱼」(スズキ・バス系)から、単字“鲈”を使用
23. perĉ / 鱼 / アセリナ(ruff) / 個別の簡体字が稀少なため汎用の“鱼”に統一
24. ezok / 狗鱼 / カワカマス(pike) / 中国語で一般的に“狗鱼”と呼ぶため2文字表記
25. sole
    * 提案: 鳎鱼
    * 理由: シタビラメ(sole)を指す簡体字としては「鳎(タ)＋鱼」が比較的一般的。
    * 学習コスト: 「鱼」は再利用できるが「鳎」はやや画数が多め。ただし魚へん関連の再利用で全体としての負担は抑えやすい。
26. salm
    * 提案: 三文鱼
    * 理由: サケ(salmon)は中国大陸で「三文鱼」がよく使われる表記。
    * 学習コスト: 「三」「文」は画数が少なく、他でも再利用されやすい。「鱼」はすでに他魚種でも使用。
27. ŝark
    * 提案: 鲨鱼
    * 理由: サメ(shark)は中国語で「鲨鱼」が最も一般的。
    * 学習コスト: 「鲨」はやや画数があるが、「鱼」部首との組み合わせで魚の一種と認識しやすい。
28. fiŝ
    * 提案: 鱼
    * 理由: エスペラントのfiŝは「魚」一般を表すため、シンプルに「鱼」の一文字を割り当て。
    * 学習コスト: 簡体字の「鱼」は画数も少なく、汎用性抜群。
29. trut
    * 提案: 鳟鱼
    * 理由: マス(trout)の中国語表記は「鳟鱼」が一般的。
    * 学習コスト: 「鳟」は新規だが、「鱼」部首と組み合わせて覚えやすい。
30. pleŭronekt
    * 提案: 鲆鱼
    * 理由: ヒラメ(flounder)は中国語では「鲆鱼」や「鲽鱼」などが使われるが、比較的「鲆」のほうが画数が少ない。
    * 学習コスト: 「鲆」は新規導入だが、魚へんを再利用することでまとめて学習可能。
31. gobi
    * 提案: 鮈鱼
    * 理由: エスペラントの語源が「gudgeon」を示すなら、中国語で小型淡水魚を指す「鮈(ジュ)＋鱼」が妥当(※「虾虎鱼」は“goby”で混同注意)。
    * 学習コスト: 「鮈」はややマイナー漢字だが、魚へんで統一感がある。
32. angil
    * 提案: 鳗鱼
    * 理由: ウナギ(eel)の代表的簡体字表記は「鳗鱼」。
    * 学習コスト: 「鳗」は新規だが、既出の「鱼」と組み合わせて一括学習可能。
33. petromiz
    * 提案: 七鳃鳗
    * 理由: ヤツメウナギ(lamprey)は中国大陸で「七鳃鳗」が一般的(「八目鳗」とも呼ぶ地域あり)。
    * 学習コスト: 「七」は画数少なめ、「鳃」は少々多いが「鳗」は既出。魚類関連でまとまりやすい。
34. haring
    * 提案: 鲱鱼
    * 理由: ニシン(herring)は中国語で「鲱鱼」が標準的表記。
    * 学習コスト: 「鲱」はやや画数あるが、「鱼」部首再利用。
35. silur
    * 提案: 鲶鱼
    * 理由: ナマズ(catfish)は中国語で「鲶鱼」が一般的。
    * 学習コスト: 「鲶」は新規だが魚へんで学習効率を維持。
36. gad
    * 提案: 鳕鱼
    * 理由: タラ(cod)は中国語で「鳕鱼」。
    * 学習コスト: 「鳕」は画数多めだが、魚へんで統一できる。
37. moru
    * 提案: 鳕鱼
    * 理由: 同じくタラ(cod)を指す語根。重複割当で問題なし。
    * 学習コスト: 既出の「鳕鱼」を使い回しで追加学習不要。
38. karas
    * 提案: 鲫鱼
    * 理由: フナ(crucian carp)は中国語で「鲫鱼」。
    * 学習コスト: 「鲫」は新規だが、魚へん再利用可能。
39. karp
    * 提案: 鲤鱼
    * 理由: 鯉(carp)は中国語で「鲤鱼」。
    * 学習コスト: 「鲤」は新規だが、魚へん再利用。
40. krab
    * 提案: 蟹
    * 理由: カニ(crab)の中国語は「螃蟹」が一般だが、ここでは1文字の「蟹」を割当。
    * 学習コスト: 「蟹」はやや画数多めだが、1文字で済むため追加キャラは1つで完結。
41. tink
    * 提案: 未対応
    * 理由: テンチ(tench)に対応する中国語名が一般的でなく、確証も乏しいため。
    * 学習コスト: 割当せず学習コストを回避。
42. plot
    * 提案: 雅罗鱼
    * 理由: ウグイ(roach)は「雅罗鱼」が使われる場合がある(“common roach”=Rutilus rutilus)。
    * 学習コスト: 「雅」「罗」いずれも比較的常用字で、「鱼」は使い回し可能。
43. merlang
    * 提案: 未対応
    * 理由: メルラン(whiting)に対応する簡体字標準名が定着していないか不明確。
    * 学習コスト: 不明瞭なものは割当せず誤用を防ぐ。
44. mari
    * 提案: 玛丽
    * 理由: 女性名マリア(Mary)を表す一般的な音訳。
    * 学習コスト: 「玛」はやや新規だが「丽」は後述でも再利用可。
45. emili
    * 提案: 艾米莉
    * 理由: エミリア(Emilia)等を指す際の漢語表記は「艾米莉」が広く使われる。
    * 学習コスト: 「艾」「米」「莉」いずれも人名音訳として常用で、流用の機会もある。
46. lir
    * 提案: 里拉
    * 理由: リラ(lyre)や通貨リラ(lira)などの音訳で「里拉」が一般的。
    * 学習コスト: 「里」「拉」は画数そこそこだが人名・外来語音訳で再利用可能。
47. ari
    * 提案: 亚里亚
    * 理由: アリア(aria)の音訳として「亚里亚」が使われる例あり。
    * 学習コスト: 「亚」は新規だが、「里」は#22で既出。3文字構成だがいずれも常用。
48. dali
    * 提案: 大丽花
    * 理由: ダリア(dahlia)は中国語で「大丽花」が標準名として定着。
    * 学習コスト: 「大」は画数少なめ、「丽」は再利用可能、「花」もよく使う常用字。
49. malari
    * 提案: 疟疾
    * 理由: マラリア(malaria)の中国語名は「疟疾」が正式名称。
    * 学習コスト: 「疟」「疾」は新規だが医療文脈で使用頻度高。2文字で簡潔。
50. ĥimer
    * 提案漢字: 奇美拉
    * 選定理由: 現代中国語で「キメラ」(chimera)を音訳するときによく使われる表記。「奇」「美」「拉」はいずれも比較的常用の簡体字であり、かつ日本語話者にも意味・読み方がある程度推測しやすい。
    * 学習コスト等: 「奇」「美」「拉」は他の外来語音訳でも用いられることが多く、再利用性が高い。
51. kimer
    * 提案漢字: 奇美拉
    * 選定理由: 上記(ĥimer)と同様に「キメラ」の意。エスペラント内での綴り違い(ĥ→k)だが、実質的に同じ神話上の生物「キメラ」を指すならば同一表記とし、後で上付き文字などで区別してもよい。
    * 学習コスト等: 同上。重複利用により学習コスト削減。
52. kalomel
    * 提案漢字: 甘汞
    * 選定理由: カロメル(化学物質)の中国語名としてもっとも一般的。「甘」「汞」はいずれも画数が多すぎず、化学分野では頻出。
    * 学習コスト等: 「甘」は他の表記にも応用しやすく、汎用性が比較的高い。
53. karamel
    * 提案漢字: 焦糖
    * 選定理由: 「カラメル」＝「焦がした砂糖」ということで、中国語で「キャラメル」は「焦糖」が一般的。
    * 学習コスト等: 「焦」「糖」はやや画数が多めだが、いずれも常用かつ飲食関連で頻出。日本人にとっても意味が推測しやすい。
54. kamlot
    * 提案漢字: 卡姆呢
      + （※「camlet」に対する厳密な定訳はないため、ここでは音訳+布地を表す字「呢」を組み合わせた造語的表現）
    * 選定理由: 中国語で「カムロット織物」に対する固定した一字名称はほぼ存在しないため、音訳の「卡姆」＋布地を表す「呢」 としてまとめるのが分かりやすい。
    * 学習コスト等: 「卡」「姆」「呢」は他の外来語(人名・地名等)でも頻出する音訳要素であり、再利用性がある。
55. kame
    * 提案漢字: 浮雕
      + ※「浮き彫り(カメオ彫刻)」の意
    * 選定理由: Cameo(カメオ)は宝石等の浮き彫り細工の総称として「浮雕(宝石)」などと説明される場合が多い。
    * 学習コスト等: 「浮」「雕」は彫刻関連で比較的汎用的。「雕」はやや画数が多いが、後述の「雕像」などとも重複し、使い回しが可能。
56. goril
    * 提案漢字: 大猩猩
    * 選定理由: ゴリラは現代中国語で「大猩猩」が定着。日本語でも「大猩猩」という表記は一応存在し、意味を類推しやすい。
    * 学習コスト等: 「大」は最頻出級の漢字。「猩」は画数がやや多めだが、繰り返しで「大猩猩」と書くため実質新出部件は少なく済む。
57. kreol
    * 提案漢字: 克里奥尔
    * 選定理由: クレオール語(民衆言語)やクレオール人を指す際の一般的な音訳。「克」「里」「奥」「尔」は外来語音写で非常に頻出。
    * 学習コスト等: 4文字ではあるが、いずれも他の外来語(名前・地名・技術用語など)で多用されるため、一度覚えると再利用範囲が広い。
58. kvadril
    * 提案漢字: 四对舞
      + ※原意の「四組(四対)で踊る舞踊」＝Quadrille
    * 選定理由: Google翻訳では「四对方舞」などが出るが、文字数を抑え「四对舞」の方が簡潔で意味も推測しやすい。
    * 学習コスト等: 「四」「对」「舞」はいずれも非常に高頻度。重複使用もしやすく学習負担が軽減される。
59. balen

* 提案漢字: 鲸
* 選定理由: クジラは簡体字で「鲸」。日本語の「鯨」の簡体字形に相当し、双方とも連想しやすい。
* 学習コスト等: 画数は13画だが、海洋生物関連で頻出し「鲸鱼」などでも使われるため、妥当な範囲。

1. kanari

* 提案漢字: 金丝雀
* 選定理由: カナリヤの標準的な中国語名。「金」「丝」「雀」の組合せは文字通り「金色の細い羽の小鳥」というイメージで、日本語話者にも比較的想像しやすい。
* 学習コスト等: 「金」「丝」「雀」はそれぞれ常用字で、再利用性も高い。

1. kaviar

* 提案漢字: 鱼子酱
* 選定理由: キャビアを指す代表的な中国語表現。文字通り「魚の卵のペースト」。
* 学習コスト等: 「鱼」「子」「酱」は食材関連でよく使われるため、使い回しが利く。

1. kalikot

* 提案漢字: 印花布
* 選定理由: キャラコ布(Calico)は「印花布(プリント布)」として呼ばれることも多い。
* 学習コスト等: 「印」「花」「布」はいずれも画数・頻度ともに学習しやすい部類。

1. lekant

* 提案漢字: 雏菊
* 選定理由: レカント→マーガレット/デイジーの一種。中国語では一般的に「雏菊」（小型の菊の総称）で通じる。
* 学習コスト等: 「雏」「菊」は花卉関連である程度出現頻度あり。やや画数は多いが比較的有名。

1. perl

* 提案漢字: 珍珠
* 選定理由: 真珠。「珍珠」は最もスタンダードな表記。
* 学習コスト等: 「珍」「珠」は宝石・貴重品関連で再使用可能。「珍珠母」など関連語にも派生しやすい。

1. perlamot

* 提案漢字: 珍珠母
* 選定理由: mother of pearl（真珠層）。中国語では「珍珠母」「珍珠层」など表現があるが、ここではシンプルに「珍珠母」。
* 学習コスト等: 「珍」「珠」は既出で、追加は「母」のみ。学習負担は比較的軽微。

1. statu

* 提案漢字: 雕像
* 選定理由: 「立像」は和語的表現に近く、中国語では「雕像」や「塑像」が一般的。ここでは「雕像」が最も通用度が高い。
* 学習コスト等: 「雕」はやや画数多めだが、上記「浮雕」と重複使用ができるので学習効率は上がる。

1. idol

* 提案漢字: 偶像
* 選定理由: 「偶像崇拜」(idol worship)など、中国語・日本語ともに「偶像」で広く通じる。
* 学習コスト等: 「偶」「像」は文化・宗教・芸能など多方面で使われるため、頻度は比較的高い。

1. pup

* 提案漢字: 玩偶
* 選定理由: 人形(人型の玩具)という意味では「玩偶」が広義に使われる。「娃娃」「洋娃娃」などもあるが、ややニュアンスが狭まるので「玩偶」が無難。
* 学習コスト等: 「偶」は上記(偶像)と重複。文字数2文字でそこまで負担は大きくない。

1. marionet

* 提案漢字: 牵线木偶
  + ※「操り人形」を表す中国語の代表的呼称としては「提线木偶」「牵线木偶」などが一般的。
* 選定理由: Marionetteは紐(線)で操る人形の意味。中国語では「牵线木偶」「提线木偶」が分かりやすい。今回はやや字数を抑えつつも広く通用する「牵线木偶」を採用。
* 学習コスト等: 「木偶」「偶」は既出との重複利用。「线」は衣料や紐関連で再利用の可能性あり。

1. zibel

* 提案漢字: 紫貂
* 選定理由: 黒テン/サーブル(sable)は中国語で「紫貂」が最も一般的。実際には毛皮の色合いが黒～褐色であっても「紫貂」と呼ぶ。
* 学習コスト等: 「紫」は色名、他でも応用可能。「貂」はイタチ科の獣名だが、やや画数少なめ(8画)。

1. skorpi

* 提案漢字: 蝎
* 選定理由: サソリ。「蝎子」でもよいが、1文字「蝎」で十分通用する。
* 学習コスト等: 虫偏に「歇」類似の字形。やや画数はあるが虫類を表す際に再利用できる可能性がある。

1. ĝiraf

* 提案漢字: 长颈鹿
* 選定理由: キリンは中国語で「长颈鹿」が定着。日本語の「長頸鹿」と字面が似ており連想もしやすい。
* 学習コスト等: 画数は合計やや多いが、動物名としては最も標準的。

1. limak

* 提案漢字: 蛞蝓
* 選定理由: ナメクジを表す標準的な中国語名称。口語では「鼻涕虫」もあるが、正式名称は「蛞蝓」。
* 学習コスト等: 「蛞」「蝓」ともに画数多めだが、他に常用1文字が存在しないためやむを得ない。

1. sepi

* 提案漢字: 墨鱼
  + ※コウイカ、甲イカ等を指す代表的呼称。
* 選定理由: sepia(イカ墨)の語源にも近いコウイカを中国語では「墨鱼」、または「乌贼」とも言うが、セピア色の元という点では「墨鱼」がより直接的。
* 学習コスト等: 「墨」はやや画数多いが常用頻度も高く、書画や墨汁などを連想しやすい。